

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 東北支部

JCCA TOHOKU

明日への風、
東北から



vol. **54**
支部だより 2016.10

目次

Vol.54

• 巻頭言「秋田の自立を支える基盤づくりを目指して」	
..... 秋田県 建設部長 前佛 和秀	1
• 海外紀行「インド」	
..... 大日本コンサルタント(株) 平野 貴之	2
• 技術シリーズ	
「岩手県二戸市似鳥の沢地区 地下水調査」	
..... (株)菊池技研コンサルタント 高橋 司	8
• 若手技術者の声	
「新入社員としてのこれまでとこれから」	
..... (株)建設技術研究所 西前 春伽	10
「若手技術者の1年目」	
..... 八千代エンジニアリング(株) 普山 拓明	12
• 技術士合格体験記	
「技術士合格体験記」	
..... (株)復建技術コンサルタント 山本 和司	13
• 私の趣味	
「「空道」って何だ!？」	
..... (株)長大 小松 洋之	14
• 土木施設紹介	
「銀河鉄道の夜—宮守川橋梁」	
..... (株)長大 荒木 孝広	16
• 視察報告	
「第2回東北震災復興i-Constructhion (ICT) 連絡会議 (現地視察)」	
..... (株)復建技術コンサルタント 滝上 忠彦	17
• 会員の紹介	
「国土の発展と笑顔をつくる会社」	
..... (株)寒河江測量設計事務所 安孫子 正芳	18
「地域に根ざして45年」	
..... (株)サトー技建 山内 浩	19
「会津若松ダイエツからの新会員便り」	
..... (株)ダイエツ 山岸 俊男	20
• 支部活動報告	
「平成28年度支部定時総会」	21
「平成28年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会」	22
「9月1日「災害時対応演習」を実施」	23
• 特集	
「EE東北'16」	24
「平成28年度 東北支部会員 東北地方整備局優良業務表彰について」	25
「遠藤支部長 国土交通大臣表彰を受賞」	32
• 支部だより	34
• 会員の動向	38
• 東北支部 会員名簿	40
• 編集後記	42
..... 対外活動部会 広報委員会 副委員長 菊池 透	



秋田の自立を支える基盤づくりを目指して

秋田県 建設部長 前 佛 和 秀

1 はじめに

全国で最も早いスピードで人口減少が進んでいる本県において、今後も県が持続的に発展していくためには、若者の県内定着や少子化対策等の直接的な歯止め策に加え、産業経済活動の維持・成長や働く場の確保のほか、人口減少社会を踏まえた新たな社会システムの構築など、先駆的な取組を進める必要があります。

本県では、これらの課題を克服するとともに元気な秋田を作り上げていくため、平成26年度に新たな県政運営指針として「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定しており、また昨年10月には秋田の創生のための意欲的・継続的なチャレンジを支援する取組として「あきた未来総合戦略」を策定しています。

建設部では、社会インフラの整備・管理を通じた計画実現に向け、次の2～4に示す3つの重点事項を掲げ、事業の推進に積極的に取り組んでいるところです。

2 秋田の成長戦略を支える基盤づくり

道路網の整備については、昨年10月に日沿道「象潟～金浦」間が開通し、今年度も日沿道「鷹巣～二井田真中」間と東北中央道「院内道路」の開通が予定されています。開通により周辺地域では企業の売上高の増加や新規企業の立地促進など、様々なストック効果の発現が期待されますが、高速道路はつながってこそ一層効果が発揮されるものであり、引き続き早期の全線開通に向け取り組んでいきます。

港湾の整備については、昨年度までに秋田港において、国際コンテナターミナルの拡張やガントリークレーンの増設が完了しており、国際物流拠点としての機能強化が図られたところです。また、県では日本海交流の玄関口として更なる秋田港の活性化を目指し、交流人口拡大に大きく寄与する外航クルーズ船の積極的誘致のほか、洋上風力発電の導入とそれに伴う関連産業の育成を秋田の創生に向けた重要な取組と位置づけ、本格的な事業展開に向け、取り組むこととしています。

空港機能の強化については、冬期における遅延便数減少や路線運航率向上のため、更なる除雪作業の効率

化に努めるとともに、空港の活性化を図るため、民間事業者のノウハウを活かした管理運営や路線誘致など、最適な民営化のあり方について検討します。

3 安全・安心を未来につなぐ基盤づくり

県民の生命と財産を洪水や土砂災害から守るため、三種川や斉内川などの河川の改修を計画的に推進するとともに、土砂災害に対するハード整備を促進するほか、警戒区域等の法指定を加速します。また、豪雨による洪水被害や水不足への対応として、成瀬ダムや鳥海ダムの整備促進を国に働きかけていきます。

一方、インフラのマネジメント強化については、昨年度に「あきた公共施設等総合管理計画」を策定したところであり、本計画を基本としたインフラ施設毎の長寿命化計画の策定により、計画的な維持管理に取り組んでいきます。

4 暮らしやすい生活環境づくり

中心市街地の活性化や既成市街地の再構築など、市街地中心部における利便性の向上を図り、多くの人々が暮らしやすいコンパクトで魅力あるまちづくりを推進します。

また、生活排水処理サービスの効率的かつ持続的な提供のため、市町村と連携し処理施設等の機能合体や一体的な管理・運営等による広域共同化を推進します。

5 おわりに

こうした社会資本の整備や維持管理を円滑に推進するためには、調査・計画・設計等の業務において、高度な知識と技術により事業者の事業執行を支援していただく建設コンサルタントの皆様が存在が不可欠です。今後とも、私ども事業者の良きパートナーとして、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部の皆様のご協力を賜るようお願いいたします。

おわりに、東北支部会員の皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、貴協会と会員の皆様のごさらなるご発展とご健勝を御祈念申し上げます。

インド

大日本コンサルタント株式会社 平野 貴之

1. はじめに

ズバリ。な表題を付けてみた。皆様方の目に止まれば幸いである。

本稿は JICA（国際協力機構）が実施する、インド北東州の国道整備プロジェクトに参加した関係で、筆者が初めて訪れたインドの滞在記である。筆者が感じた「インド」を多くの図や写真を交えて紹介しようと思う。

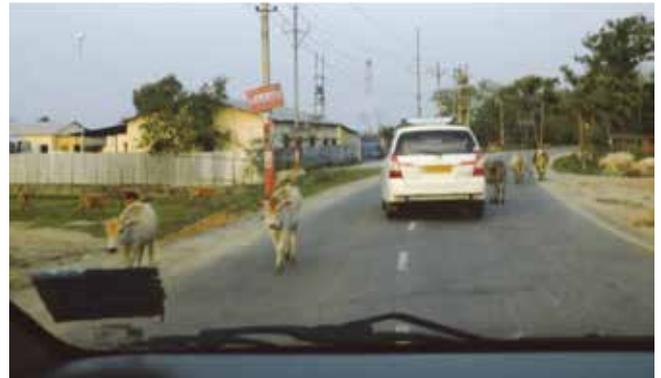
今回訪れたのは、① いわゆる都市部である首都圏デリー、② 北東部メガラヤ州にある州都シロンである（下図参照）



図：今回訪れた主な町

2. フッターにいろんな動物が町にいる

インドは町中であろうが、牛が放し飼いされており、いたる所に出没する。特に中央分離帯は牛のちょうど良い昼寝場所になっていた。



牛がフッターにいる

それ以外にもいかにも不健康そうな野良犬がそこら中で歩き回っており、狂犬病の予防接種を打っておいで良かったと入国早々に思い知った。また、野生のリスや、同じく放し飼いされているヤギなど、日本では体験できない生活空間がそこにはあった。



野良犬もフッターにいる

3. たしかに「発展途上」

発展途上国と言っても、ニューデリーをはじめとする大型都市部では町が非常に発展しており、高層ビルは建設ラッシュ、鉄道網も手広く整備されており、電車一本でどこでも行けるほどだった。

また、日本を離れてこそ実感できたのだが、若者がやたら多い。こういう国を「勢いがある、発展する国」というのかと実感した。



ニューデリーの様子

ただし、カースト制度がまだまだ残っていることもあり、市民の貧富差は相当大きくあるようで、中流階級以上と思われる人々はみなスマートフォンを持って操っている。一方で物乞いも非常に多く、道端で金品を乞うだけでなく、例えば赤信号で停まった車にはかならず物乞いや物売りが集まるのだった。

また、公共マナーもまだまだ未熟で、ポイ捨てや路上駐車などは当たり前に行われている。写真のように、せっかく設置したラウンドアバウトも交通ルールを無視する自動車と歩行者により全く機能しておらず、交通誘導員を一日中配置せざるを得ない状況である。このような側面を見ると「途上国」だなあと納得するのであった。



ポイ捨ては当たり前



歩道に駐車する車（そもそも植樹も邪魔）



交通誘導員がいるラウンドアバウト

4. 雨が降ったらさあ大変

インドは、たとえデリーであっても下水道がまだまだ整備されておらず、ひとたび雨が降ると（インドの雨はスコールのように短時間に多量の雨が降る）道路が水に浸り、川のようになる。幸い、筆者が滞在中にこの川の中を車で通過したことはなかったが、こういった排水施設の整備も早急に改良されることが望まれる。



雨が降ると道路は浸水

それと、インド人は傘をささない。もちろん、濡れるのが決して嬉しいわけではないので、雨を避けられる軒や屋根を近くに見つければそこへ逃れることはするものの基本的には雨を気にしない。スコールのような雨が降るため、「スマホ、大丈夫か？」とこちらが心配する程である。ただ、たしかに傘を差しても意味がない程の豪雨であるし、1時間もしない内にまた晴れ上がるため面倒臭くなって傘を持たなくなる気持ちもわかる。

5. 相手に同意する時の「うなずき」

当然インドでも、英語が広く使われているため（むしろ本場の「ナマステ」が全然聞けずに寂しかった）、私も中学英語を必死に並べてコミュニケーションはとれたのだが、インドに来て最初の難問が彼ら特有の「うなずき」であった。

日本人は相手に同意をする時、「YES」の意味でうなづく時、首を縦に振る。しかしインド人がうなづく時、彼らは首を横にかしげる。しかも、あまりにこやかにやってくれないので、最初に見た時は「疑い」や「否定」を示しているのだと思い意味が分からず苦労した。ちなみに、難しそうな時や困った時もやはり彼らは首を横にかしげる。全く、首をかしげたいのはこちらの方だ。



インド人が同意する時のうなずき方
(良い写真が無く、インターネットから拝借)

6. 食事その1（食事作法）

食事は期待を裏切ることなく、ほぼ全てカレーであった。豊富なバリエーションで色んな名前がついており、どれも非常においしかったが、日本人から見ればそれは全てカレーであった。（厳密には、デリーとシロンで宿泊したホテルおよびその周辺の高級レストランでは和洋中が揃っていた。）

食べ方も現地の人間は期待通り、米だろろうがナンだろろうが、器用に右手を使ってカレーと一緒に食べていた。



いろいろなカレー（一応スプーンも付けてくれる）

ところで、面白い事実を知った。彼らはペットボトルで水などを飲む時、自分しか飲まない場合でもボトルに口を直接付けないのだ。衛生面を気にしてのことであると思われるが、素手でカレーを食べておいて今更何を気にするのだと不思議に思うのであった。

7. 食事その2 (ダウキのレストラン)

ここで、印象に残ったお店を紹介したいと思う。

メガラヤ州の州都シロンから南に80kmほど行った場所に位置するダウキという田舎町で、「おいしいレストラン」という風に紹介してもらって行ったお店である。以下にお店の写真を紹介する。



ダウキのレストラン (焼きそばのようなものを食べた)

中々パンチの効いた店構えである。もちろん店内も然りである。田舎の食事処というのはこのようなものであった。しかし、料理は微妙な見た目以上においしかったし、こちらが外国人だとわかると水道水ではなく有料だがミネラルウォーターを出してくれた。

次に、「誰も手を出さなかったもの」として、屋台で売られていたライム水 (下写真) を紹介しようと思う。

町中にはライムをその場で絞って提供してくれる

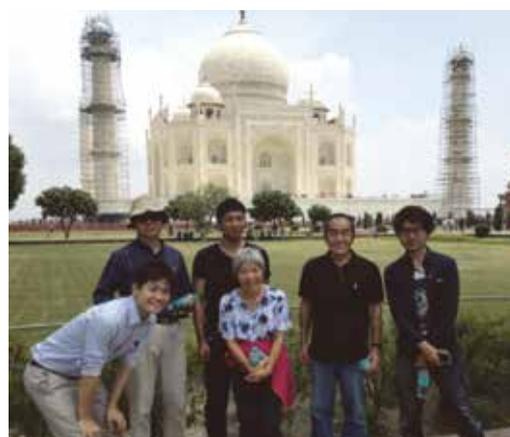


作り置き of ライム水 (なぜかライムで蓋をしている)

ジュース屋さんもあるのだが、先の写真のように既にラムネ瓶に入れられて作り置きしたものを売っている屋台もあった。初めて見た時、これがどうやって作られているのかも分からずそもそも何なのかも分からず、この見た目から来る不衛生さから、一緒にいた日本人クルーも誰一人として挑戦しなかったのである。

8. 寺院と繊細な細工

ここまで読むと、インド人に対してかなり大ざっぱで、無神経な印象を持つと思うがその印象は寺院を代表とするさまざまな建築物に施された美しい細工を見れば一変する。



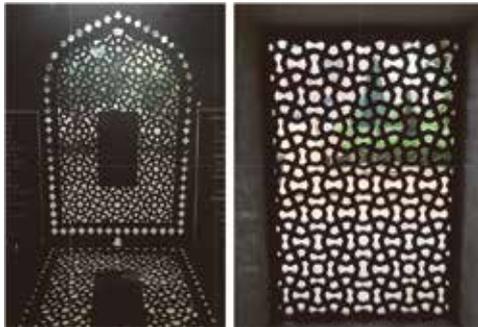
インドには多くの世界遺産がある (タージ・マハル)



見事な彫刻と宝石の嵌め込み (タージ・マハル)



透かし彫りが美しい柱 (クトゥブ・ミナール)



美しい透かし彫り
(上:クトップ・ミナル、下:フマユーン廟)

ほとんどが宗教建築であるため、当然、精魂込めて作られているわけであるが何とも言えない独特な繊細さを放っており、私も特に窓や欄干に施された「透かし彫り」に夢中でシャッターを切っていた。そして、この透かし細工は宗教建築だけでなく、様々な公共施設、店、また一般家屋の垣根などにも取り入れられており、きっと独特の「インドらしさ」というのはこの透かし彫りがその一端を担っているのだと感じた。



飲食店のイス(上)と民家の外壁(下)

9. 土木構造物のデザイン

また、土木構造物についても、高架橋などを見ると洗練されていないものの、「同じような橋はいらない」と言わんばかりに橋ごとに様々なデザインがなされていた。このように、場所ごとに違う橋(だけでなくこのような考えで作られた町)を見ることができるといのは、その場所を訪れるだけで「見る」ことが楽しくなりワクワクするものである。そういう意味では、魅力溢れるまちの造形というのは、合理的な画一化を採用することではないことを改めて強く教えられた気がした。たとえ、機能的に無駄や非効率なものであっても、その場所に何かしらの「らしさ」を与えられるような工夫ができる土木の在り方というのは我々土木エンジニアだけでなく、そこに住む、あるいはそこを訪れる人々にとってもきっと楽しいものではなからうか。



いろんなデザインの橋脚



排水管に模様をつけたコンクリートで覆った例

10. その他

色々取り留めもなく私が感じた「インド」を紹介してきたが、まだまだ紹介できていないものがたくさんある。すべてを解説付きで紹介するとページがいくらあっても足りない。したがって、印象的な写真をいくつか紹介して終わりにしようと思う。



TVでしか見たこと無い壮大な自然の中を通る道路



訪れた寺院で行われていた礼拝儀式



現地踏査で出会ったとある集落の女の子



インドの土木エンジニア達と



現地で仲良くなったインド人

11. 最後に

今回、インドに訪れるきっかけとなった国道整備プロジェクトは現在も進行中であるため、その内容については触れなかったが、今回紹介したような自分でも驚くほど今まで感じたことのない感覚や刺激が得られる土地で、現地の人とコミュニケーションをとる喜びを感じながら自分の土木技術が海外の発展に貢献するという体験は、何物にも代えがたいものでありこれからの土木エンジニアとしての、また一人の人間としてのとても大きな糧になると確信している。

一緒に仕事をした社内外の英語が流暢な日本人エンジニア達を横目に、これから間違いなくやって来る国内コンサルの海外進出の本格化に向けて、個人的に「出遅れている感」を感じているが、今からでも決して遅くはない。しっかり英語力を付けて、将来的には国内の仕事も海外の仕事もどん欲に楽しめる土木エンジニアになりたいと思った次第である。

岩手県二戸市似鳥の沢地区 地下水調査

株式会社菊池技研コンサルタント 地質課 高橋 司

1. 似鳥地区火山砂防事業について

岩手県県北広域振興局二戸土木センターでは、河川・砂防・急傾斜・地すべり・災害等の企画、設計、監督等における施策の一つとして、「防災・危機管理対策の推進（火山砂防事業）」を行っています。

同事業の1つとして、平成20年度より、二戸市似鳥地内において、地域の安心、安全の確保を図るために、砂防堰堤や溪流保全工の施設整備が行われています。この似鳥の沢地区の保全対象には、人家31戸並びに防災計画の避難所に位置付けられている似鳥多目的研修センター及び市道似鳥福田線があり、平成16年9月の台風21号の際は、沢下流域及び上記市道へ土砂が流出する災害が発生しました。

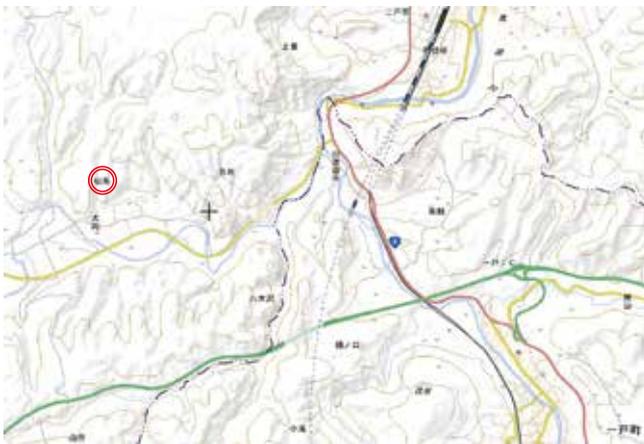


図1 事業地点

事業地の溪床勾配は $i = 1/20 \sim 1/5$ 程度と急勾配で、溪床幅は $B = 1 \sim 2$ m と狭く、山腹斜面の勾配は $30 \sim 50^\circ$ と急勾配です。溪流内には小規模な崩壊箇所が確認できるほか、上流域には大規模な旧崩壊地形（地すべり）もみられます。

2. 似鳥地区火山砂防事業における当社の役割

当該地内において懸念される土砂災害の発生を防止するために、測量、流域調査（土砂・流出流量等）、砂防計画（砂防ダム、溪流保全工、総合検討）を行っております。また下流域の清澄な沢水や地下水の利用

者を対象として、施工時の下流域への影響をモニタリングすることを目的として、平成22年度より継続的に地下水調査を実施してきました。本報では、この地下水調査について概説します。

3. 似鳥の沢地区地下水調査の内容

似鳥の沢下流域では、以前より沢部からの取水や浅井戸の設置が行われており、飲用水及び雑用水として利用されてきました。沢部取水については、沢上流部からの導水管の移設等による補償が行われました。浅井戸については、①堰堤工事（岩盤掘削）による滞水層への影響、②コンクリート打設による水質変化が懸念されたので、下流域の全井戸を観測地点とした地下水調査を計画・実施しました。表1に調査内容の概要を示します。

表1 地下水調査項目と頻度

項目	連続観測	定期観測（月1回程度）
水位測定	3地点	13地点
水質測定	—	31地点

①滞水層への影響については、井戸水位が低下するというアウトプットが想定されたので、水位変化を詳細に記録するため、1時間毎の連続観測を実施しました。なお観測対象には飲食用途の井戸も含まれたため、人体に影響がないことは無論、井戸所有者に負担無く、長期間メンテナンス無しに測定が可能な測定装置を選択、設置しました。図2に本調査で使用した水位計を示します。

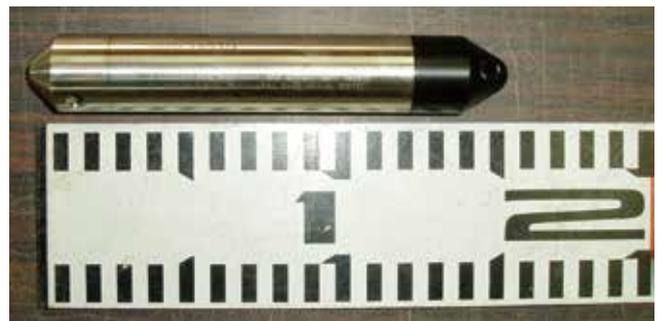


図2 本調査で使用した水位計

全長 15cm のステンレス製でロガーを内蔵しており、電池寿命は 5 年となります。スタンドアロン（単独）で動作するため、ワイヤー吊下部の仮設のみ考慮するだけです。

②コンクリート打設による水質変化については、水素イオン濃度（pH）のアルカリ側への推移や、濁水の発生というアウトプットが想定されました。前述のように飲用用途の井戸を含むため、現地にて環境基準等と速やかに比較できることを考慮し、一度に pH や濁度等を測定可能な多目的水質計による測定を実施しました。図 3 に使用した水質計を示します。



図3 本調査で使用した多項目水質計

水質計としては一般的なものですが、pH、濁度、溶存酸素、水温を一度に測定可能であり、耐水性にも優れた仕様です。

平成 22 年 8 月～ 28 年 3 月までの約 6 ヶ年に渡り水位・水質測定を行いました。測器のトラブル等もなく、安定して測定を継続、調査結果を発注者へ報告することができました。なお懸念された水位・水質への影響はありませんでした。

4. 調査段階での苦労話

当該地は降雪地（平年値 100cm/月程度）のため、冬季は観測地点が雪に埋没していることが多いので、スコップを携帯し、まず雪かきで汗を流すことが必要でした。図 4 に冬季の観測地点（井戸）の状況を示します。



図4 冬季の観測地点(井戸)の状況

コンクリートの蓋は ϕ 0.9m ですが、蓋をずらすため、 ϕ 1.2m 程度の範囲について、雪中埋没となる概ね 50cm 程度は除雪が必要でした。

調査当初は、よそから来た知らない人と不審がられることも多く、事業内容や調査目的を何度も説明する状況でしたが、最近では地元の方から先に声をかけていただくことも多く、似鳥地区の集落に溶け込んで調査を行うことができるようになったことは、うれしいことでした。

5. 調査における心がけ

当該砂防計画において、事業を進めるにあたっての留意点として、「地域住民の合意形成を図ると共に、施設位置、施設規模、景観、完成後の土地利用、将来の維持管理などについて地域住民との連携を図って事業を進めるのが望ましい」との記載があります。

本調査においても、4. で述べたように住民の方々に事業内容や調査目的を説明したうえで測定を行いました。また常時使用している井戸であり、住民の方々全てが、その状態を気にかけている状況でしたので、データ測定時の立会いの際は、濁りや味覚が変わっていないか等、聞き取りを行うように心がけておりました。

今後も「地域住民との連携を図ること」を心がけて、調査に臨みたいと思っております。

以上

新入社員としてのこれまでとこれから

株式会社 建設技術研究所 西 前 春 伽

1. はじめに

入社してから早くも5ヶ月が過ぎようとしています。私は現在、仙台市で道路設計に関わる仕事をしています。半人前どころか4分の1人前にも満たない未熟者ですが、やりがいを見失うことなく、楽しく働くことができています。

2. 社会人になって

学生時代に比べ、大きく変化したと感ずることは、仕事中心に日常生活を送るようになったことです。それは、常に業務のことで悩んでいるわけではなく、暮らしの中で仕事に関連したものに興味を湧くようになったということです。

例えば、仕事で調べた道路構造があると、ついじっくりと観察してしまうようになりました。また、施工中の道路のそばを通ると、つい目で追ってしまいます。学生時代は何気なく見過ごしていた部分を、今ではどうしてこのような構造になっているのか、なぜこの工種なのかと興味を湧きます。道路という、非常に身近で当たり前のように利用しているインフラに、理由があり、工夫があり、多くの人々の努力があると分かり、自分の世界が広がっていくことを実感しています。自分の仕事に関するものを日々目にし、疑問を持ち、発見があるということは、仕事のモチベーションにつながる、非常に恵まれたことだと感じています。

また、実際に業務に携わり、建設コンサルタントという仕事が、非常に地道で、言ってしまうと泥臭い部分がある仕事だということに驚きました。一つ一つ調査し、細かく検討を重ね、設計を繰り返し、一本の道路が出来上がっていく。地道な作業が多く、劇的に成果があがるわけではない、スマートさとは遠い仕事だと感じます。しかし、道路という大きなものが、自分の手の中で成果として着実に出来上がっていく手ごたえは、代えがたい楽しさだと思います。

社会人の楽しみの一つといえば、何と言っても一仕事終わってからお酒を飲むことです（あくまで個人の意見ですが）。学生のときは、同世代と飲むことが多かったのですが、社会人になり、様々な年代の方々と飲む

機会が増えました。自分では思いもよらないような体談を伺うことができ、非常に楽しい時間だと感じます。



【部署の暑気払いにて】
(仙台のビアガーデン。7月でも夜は少し寒いです。)

3. 交流を持つことの大切さ

現在では、通信技術の発達に伴い、SNSやe-mailなどの様々な手段を利用し、離れた場所にいる人同士でも気軽に交流できるようになりました。

私たちの会社でも、SNSを利用し、同期の間で研修会や勉強会の情報交換を行ったり、日々の出来事や休日のイベントなど、たわいのないことをやり取りしたりと、交流を深めています。これまでは、同期同士でも勤務先が違うとなかなか会う機会がなく、繋がりが薄れてしまうことがあったかもしれません。しかし、近年では、様々な通信技術を駆使し、遠く離れた地域で働く人とも情報を共有できるようになりました。私には、20人近くの女性の同期がいますが、残念ながら皆別の勤務地で働いています。それでも、SNSを利用し、女性ならではの悩みを相談したり、意見を言い合うことができます。同じ目線でアドバイスをくれる仲間がいるということは、大きな心の支えになります。

また、仙台の他社の建設コンサルタントで働く新入社員の間でも、SNSを用いて日常的に交流しています。気軽に連絡が取れるため、皆で誘い合わせ、仕事終わりに飲みに出かけたり、休日に釣りや野球観戦を楽しんだりしています。会社は違っても、同じ業界で働く仲間であり、ライバルでもある彼らとの交流は良い刺

激になります。さらに、共有可能な情報を交換し、他社の良いところを知り、取り入れることで、建設コンサルタントで働く人々が力を合わせ、業界全体を盛り上げていけるのではないかと考えています。



【仙台の建設コンサルタント懇親会にて】
(左から3番目が私です。)

情報リテラシーの観点から、SNSを用いた交流に難色を示す方も多いと思いますが、使い方に注意すれば、非常に有用な道具であると思います。新しい技術に抵抗を持つことなく、柔軟に取り入れることで、より効率的に仕事を進めることができるようになるのではないのでしょうか。

通信技術と同様に、業務上で用いるソフトウェア等も日々進化しています。新しい技術をどんどん学び、取得し、積極的に業務に取り入れようとするのが、若手社員の大きな役割だと考えます。

4. 東日本大震災を経験して

私の実家は岩手県久慈市にあり、平成23年3月に発生した東日本大震災で、家屋は津波の被害を免れましたが、生まれ育った町並みは跡形もなく流されました。大学がある盛岡から実家に戻り、初めて被災地を見たときの衝撃は、決して忘れることはできません。その時の体験が、建設コンサルタントを志望した理由の一つとなっています。故郷の復興に役立ちたいと

思ったのです。

震災から5年以上経ち、新設された道路を通ると、自らの仕事は自分や家族の生活に直結するものであるということを改めて認識します。仕事を通して社会貢献することが、ひいては自分や家族、友人の生活を守ることに繋がるという実感は、大きな喜びだと思いません。

また、大学時代に被災地の復興まちづくりについて研究していた際、仮設住宅で暮らす方に伺った話が印象に残っています。

その方は長年漁師として生計を立てており、「行政に高台に移転しろと言われていたが、自分は死んでも海から離れたくない。」と私に話してくれました。その方は、行政の意向は人命を守るためであり、正当であると認識していましたが、生まれ育った家を捨て、海から遠い場所に移り住むことを拒否していました。それまでは、ラストユーザーである住民の安全、安心が最優先であると考えていました。しかし、安全という観点と、住民の意思といった観点では、必ずしも答えが一致するわけではないということに気づきました。

住民の個々の意思や思い出とどのように折り合いをつけていくのか、といった疑問は未だ解決されずにいます。今後、建設コンサルタントで働く技術者として、自分なりの答えを見つけることができたらと考えています。

5. おわりに

入社してからのこれまでの数ヶ月は、右も左もわからず、失敗することも多々ありましたが、周囲の方々のおかげで充実した日々を送ることができました。

今後とも、指導して下さる上司や応援してくれる家族、友人への感謝を忘れず、尽力していきたいと思っています。

若手技術者の1年目

八千代エンジニアリング株式会社 東北支店 河川・水工部技術第一課部 晋山 拓明

1. 1年を振り返り

2015年4月に新卒で入社して1年が経過しました。大学時代に研究していた河川分野の業務に携わり、あっという間に1年が過ぎました。この1年は一言で表すと“試練”でありました。

2015年の繁忙期に入る前に、とある業務でメインとして担当させていただく機会をいただきました。初めのころの私は正直に申しますと“上司の方をバックアップすればいい”という、業務内でフォローだけをすればいいやという受動的な考えでありました。そのため、繁忙期は業務を行うという意識が足りず多くの失敗を経験し、多くの人に迷惑をかけ、何度も嫌な汗を流しました。

しかし、あるときから嫌な汗を流したくないために“自分でやりきってやる”という主体的な考えにし、仕事に対する甘い意識を変え先輩方に教えていただきながら業務を行いました。

そのような考えになると、一気に業務の重みや考えることの多さということに気づき先輩方の偉大さを再認識いたしました。そしてなんとか、試練の繁忙期を越えることが出来ました。繁忙期明けの達成感の中で飲むお酒は格別でした。

2. 繁忙期明けの過ごし方

話は変わり、私は繁忙期明けの期間、2つの趣味を楽しみたいと考えています。

私の趣味の1つ目はお酒を飲むことです。私は毎日お酒を飲んでいたいほどお酒が大好きです。そのため、仙台でのおいしい居酒屋を開拓するだけでなく、東北には多くの酒造があることから、酒造めぐり（日本酒）を今後行いたいと思います。

2つ目は旅行です。国内海外両方とも好きです。

国内では2016年7月の3連休を利用し会社の同期と共に気仙沼へ1泊2日の旅行に行きました。今回の旅行でBBQも同時に行うことを計画していたため、道中に点在していた道の駅、漁港などで食材を購入しました。

気仙沼には観光客向けの漁港があり、多くの海産物

が売られており、色々な食べ物に目移りしてしまいました。しかし私を釘付にしたのは、1枚100円の大きなホタテです。今まで見てきたホタテは約300～500円であり、小ぶりのものばかりでしたが、1枚100円は驚愕でした。しかも、焼いて食べてみると最高においしく、ビールとの相性も抜群で、同期と最高の休日を過ごせました。

まだまだ、東北には穴場のスポットが多くあるため、これから開拓していきたいと思っています。

海外では、2016年8月の長期休暇を利用して、東南アジアの旅行を計画しております。大学時代に社会人の方から「時間はあまり取れない」と頻繁に聞いていました。そしていざ私が社会人になってみると、やはり休日を確保することが困難であることがわかりました。（繁忙期は特に休日を確保できませんでした。）そのため、長期休暇で思いっきりリフレッシュをして、今年度の繁忙期を乗り切るために蓄えたいと思います。

社会人2年目の繁忙期まで約半年となり、日々戦々恐々としております。しかし、この約半年間で多くの技術を身に着けて、今年の繁忙期も乗り越えるように頑張りたいと思います。



【BBQ風景】



【驚愕のおいしさ！1枚100円のホタテ】

技術士試験合格体験記

株式会社 復建技術コンサルタント 山本和司

1. はじめに

私は、建設部門の「建設環境」を受験しました。一次試験には大学3年時に環境部門で合格していたため、二次試験には最少年齢から挑戦することができ、幸いにも2度目の受験で合格できました。ここでは、私が技術士試験に合格するまでの体験を紹介させていただきます。

2. 受験の動機

一次試験は、友人から合格していれば就職に有利になると聞いたことがきっかけで、当時は資格の重要性をほとんど認識せず軽い気持ちで受験しました。しかし、就職してから先輩技術士の姿を見て、技術士の義務と責務の重さを知りました。東日本震災の復興に少しでも役に立ちたいと思い仙台に来て丸2年、さらに社会に貢献していくためには必要な資格であると感じるようになり二次試験への受験を決意しました。

3. 筆記試験

初めての二次試験の筆記は、時間の少なさに焦り、受験番号を書き忘れる凡ミスにより不合格でした。設問への解答以前に、普段、えんぴつで文章を書くことを怠っていたため、最後まで書き続ける握力もスピードもなく、筆記力の向上が課題と感じました。

翌年は、業務が多忙であり勉強時間の確保が難しかったため、休日の午前中に集中して選択問題を解き(午後は休暇として利用)、平日の就寝前の30分間にその解答用紙を書き写すことで課題の筆記力を向上させました。また、択一問題は、通勤電車の移動時間を利用して過去問題や国土交通白書などを読んで対策をしました。

その結果、本番では、見直し作業ができるほど時間に余裕を持つことができました。

4. 口頭試験

私の口頭試験は、筆記試験の合格発表から1ヵ月後に迫っており、準備期間はほとんどありませんでした。このため、上司や先輩に頼み短い期間に何度も模擬面接に付き合ってもらいました。

口頭試験は、入退出も含めて20分という短い時間内に経歴や業務内容、選択問題、技術士制度など様々な項目の確認が行われます。このため、質問に対する回答は的確かつ簡潔に行う必要がありました。しかしながら、初めての模擬面接は、不慣れであったこともあり、質問に対する回答が長く、数問で時間切れとなってしまいました。そこで、試験方法に慣れるため、社内の他の筆記試験合格者と毎日のように模擬面接を行いました。また、建設コンサルタンツ協会が開催する模擬面接にも参加して、とにかく場数を踏むよう努めました。

その甲斐もあり、本番では、極度に緊張することもなく、落ち着いてやりとりすることができ、想定外の質問に対しても冷静に対処することができました。

5. おわりに

二次試験を受験して感じたことは、筆記及び口頭試験は共に人を相手に行われるため、一人の力での合格は難しいということです。限られた時間内でいかに相手に理解してもらえるかが重要であり、そのためには他人の目を利用することが一番の近道だと感じました。

私は早い段階で技術士に合格することができましたが、上司や先輩方が、ご多忙ながらも願書や筆記試験の添削、模擬面接の試験官を何度も引き受けて頂いたおかげだと感じております。この場を借りて、ご指導して下さいました上司、先輩、建設コンサルタンツ協会の皆様には心より感謝申し上げます。

「空道」って何だ!?

株式会社長大 小松 洋之

【はじめに】

こんにちは。(株)長大、仙台営業企画部の小松と申します。本日は私が大事にしている「空道」について書かせて頂きます。

今ではすっかり、足を引きずったり、顔に内出血を作ったり、某所を腫らして営業することは無くなりましたが(古い営業の方々をご存知のはず!?)、安心して下さい。毎週末、元気に殴り合っています。休みの度に、そして連続休暇を取っては、国内外で元気に殴り合っています。

【空道ってなんだ!?

「くうどう」と読みます。

現在、私が行っている競技の名前で打撃、投げ、寝技の使用が認められています。柔道と空手を足したようなものと考えて頂いて構いません。決して「空手道」から手を抜いたものではありません。本協会東北支部には宮城県内在住の方々が多いと思いますので、「大道塾」や「東孝」もしくは「北斗旗選手権大会」と言うキーワードで記憶して頂いている方もいらっしゃるかもしれません。

打撃は全て、直接加撃。反則の制限は非常に少なく、人対人に於いておよそ考えられるほとんどの攻撃を使用する事が可能です。その為、頭突きからの金的蹴りなど、他競技では考えられない攻撃も見られます。

現在、100か国程度に広がっており、大陸選手権、世界選手権も行われています。



殴って!



蹴って



投げて、極めて、締めて!

安全の担保はしっかりとされていて、頭部と拳には防具を着用します。

安全をしっかり確保したら、試合は激しく厳しく!

ちなみに、私はもう現役ではないので「ガチンコ」の試合には出ません。怖くて、とても出られません。

【海外指導について】

五段という師範の資格と国際大会での戦績を評価されたのか? 単なる出たがりを買われたのか? 国際連盟から、海外セミナーでの指導員や、国内で行われる国際大会の外人世話役に指名される事が少なくなく、潤沢に有給休暇を頂いています。社内外各位には何かと助けてもらっております。この場を借りてお礼を致します。



キューバでのセミナーでは、柔道のナショナルチームにも参加。



現地移動の際には、BRT（もの凄い高速で運行している！）や反時計回りの3車線ラウンドアバウト（同じく、全車、超高速で環道を走っている！）などの体験も出来、土木人としても興味津々の旅が続く。

【おわりに】

土木工学と空道を含む全ての武道は、非常に似ているものであると感じています。

第一に思考方法が。事を進めるに当たり、都度比較検討し最善策を模索する。◎が常にあるとは限らず、○、△を取捨選択しながら最悪の×を避ける、という思考は空道においても有効に機能します。蹴るか？組み合うか？男らしく一本を狙うか？非難覚悟の塩判定で凌ぐか？瞬間瞬間に比較検討しながら最悪の×だけは避ける、というような。

第二に、目的そのものが、よりよい市民生活を支える為の方法が土木工学であり、よりよい市民生活を支える為の人間そのものを作り出す方法が武道であるのではないかと。双方共に最終かつ究極の目的は社会に寄与貢献すること一点である、とは言い過ぎでしょうか。という理屈を会社に対して捏ねながら、これからも楽しく厳しく空道を楽しんで生きたいと考えている次第です。

銀河鉄道の夜－宮守川橋梁

株式会社長大 荒木孝広



国道283号線と宮守川をまたぐJR釜石線、岩手県遠野市には昭和18年竣工の宮守川橋梁が今も現役で活躍しています。めがね橋の愛称で親しまれ地元の通勤通学として利用されているだけでなく、期間限定ですが花巻～釜石間をSL銀河が運行しています。

この日、宮守駅11時40分汽笛が聞こえました。力強く蒸気の吐き出す音が近づく。昔懐かしい石炭のにおいを残し遠野駅に向かいました。

また宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」は当時の岩手軽便鉄道をモデルに執筆したと言われています。主人公の少年ジョバンニと友人カムパネルラが銀河鉄道に乗って果てしない宇宙を旅する……。秋の夜長、賢治ワールドを楽しむのも一考ではないでしょうか。

宮守川橋梁

昭和18年に現在の形式に改修され、5連アーチの橋梁は建設当時の鉄道土木技術の素晴らしさを伝えており、「土木学会選奨土木遺産」「近代化産業遺産」に



認定されています。

・鉄筋コンクリート充腹アーチ橋 ・橋長107.3 m、
径間20 m × 5連 ・竣工 1943（昭和18）年

参考文献等

・「土木学会 選奨土木遺産」土木学会
・アプリ「ガイド東北」国土交通省東北地方整備

視察報告：第2回東北震災復興i-Construction（ICT）連絡会議（現地視察）

株式会社 復建技術コンサルタント 滝上 忠彦

今年3月に行われた「東北震災復興i-Construction（ICT）連絡会議（現地視察）」には、連絡会議構成メンバーの東北地方整備局のほか、学識者・自治体・業界団体等から35名（建設コンサルタンツ協会東北支部からは遠藤支部長と情報部会の滝上）が参加しました。

目的：震災復興工事の省力化・効率化に繋がるICTの全面的な活用に関する取り組みを、直接確認することを目的とした現地視察
 日時：平成28年3月4日（金）13：00～17：30
 視察先：鳴瀬川中下地区現場、第3南蒲生幹線工事
 参加者：35名

・鳴瀬川中下地区現場：情報化施工の建設機械等

この現場では、鳴瀬川河口部の河川堤防整備が行われており、ドローン（UAV）活用、MC（マシンコントロール）ブルドーザーやMCバックホウ、およびMG（マシンガイダンス）バックホウ、MC振動ローラなどの情報化施工の建設機械を視察しました。



GNSSを用いた締固め管理（振動ローラ）とMCブルドーザー

GNSS（衛星測位システム）を用いた締固め管理は、振動ローラの運転席で転圧回数や施工位置を確認しながら施工でき、施工管理書類が自動作成される仕組みです。MGバックホウも、3次元設計データを目標値とし、バケットや排土板の位置と目標値との差分がリアルタイムでモニターに表示されて操作支援し、出来形管理資料が自動作成される仕組みです。これにより熟練技能者でなくとも施工が容易にできるとのことでした。



MGバックホウと追尾型トータルステーション



・第3南蒲生幹線工事の現場：ロボットスーツ（HAL）
 ここでは、ロボットスーツ（HAL）を活用した小運搬作業を視察しました。改良の余地はまだあるものの、腰に負担の大きい作業において作業の効率化および身体への負担軽減に効果があり、高齢の作業員には評判が良いとのことでした。



ロボットスーツ（HAL）の装着状況・小運搬実演状況

・視察を終えて

この視察で、情報化施工により品質の向上と工期短縮が図られていることが確認できました。今後は更なる高度な機械の開発や普及が進むと思われます。私たち建設コンサルタントも情報化施工に対応し、CIMなどによる設計・施工方法に取り組むことが必須であると実感しました。

情報化施工の建設機械やロボットスーツ（HAL）は、施工の効率化だけでなく、高齢化社会の問題や建設業界担い手確保（技術の伝承）の課題にも寄与していることもわかり、新たな発見をした気持ちになりました。

以上

国土の発展と笑顔をつくる会社

株式会社 寒河江測量設計事務所 代表取締役 安孫子 正 芳

弊社は、山形県のほぼ中央に位置する日本一のさくらんぼの里、寒河江市にあります。東に奥羽山脈、西に月山など出羽三山を望む修験道を中心とした山岳信仰の場として多くの修験者や参拝者で栄えた町です。

特に万年雪を抱く月山は高山植物の宝庫で春から夏にかけて250種類以上に及ぶ可憐な花々が競うように咲き乱れ、四季折々の美しい表情を見せられます。

弊社、寒河江測量設計事務所は1966年4月に創業し、2015年おかげさまを持ちまして創業50周年という節目を迎えることができました。同時に本社を新築移転し、大規模災害発生時にも迅速な復旧業務に取り掛かれるよう設備も整えました。

東日本大震災発生時には、災害協定に基づく支援要請依頼を受け、東北自動車道から沿岸部に通じる国道など3ルートへのアクセス道路の通行可否、被災状況など現地調査をおこないました。壊滅的な被害の惨状を目の当たりにし、復旧・復興の貢献の思いを決意し、仙台営業所を新たに仙台支店に改称する運びとなり、建設コンサルタント協会東北支部の一員として尽力いたします。

創業時から「和」を理念に掲げ「人と自然が優しく融けあうまちづくり」のため、より良い国土の基盤づくりと地域の発展に精進してまいりました。また、少子高齢化社会になっている現在、地域社会の活力の低下と労働力の減少などの課題に対して雇用環境を改善し、社員一人ひとりが充実した労働環境を図り、家庭や地域においても多様な生き方を選択できるように「ワーク・ライフ・バランス」に取り組んで参りました。2015年には

山形労働局より「子育てサポート企業（くるみん）」の認定、2016年には山形県より山形いきいき子育て応援企業「優秀（ダイヤモンド）企業」の認定証をいただきました。仕事と生活の調和を図り、誰もが働きやすい環境を整え、仕事と家庭の両立支援を積極的に取り組んでおります。

近年の社会情勢はめまぐるしく変化し、建設関連分野の技術革新も日々向上しております。このような社会変化においても俊敏に対応できるようなスピード経営を心掛け、より一層技術の研鑽を積んで参ります。

最後に、微力ながら協会の発展につながるよう国土の発展から万人の信頼と満足の得られる会社を目指し、顧客や地域住民の満足した笑顔をつくっていききたいと考えております。



株式会社寒河江測量設計事務所（平成27年11月入会）

本社所在地：山形県寒河江市大字西根字長面153番地の1

TEL：0237-86-5520 FAX：0237-86-5521

URL：<http://www.sagae-sokuryo.co.jp>

地域に根ざして45年

株式会社 サトー技建 常務取締役 山内 浩

弊社は昭和47年に総合建設コンサルタントとして創業いたしました。以来、地域に根差したコンサルタントとして社会資本整備に携り、設立から45年目を迎えようとしている会社です。

仙台市内を貫く広瀬川の河畔に私達の本社があります。夏になれば会社の前の広瀬川には手漕ぎボートが浮かび、家族づれが憩います。8月下旬には「灯ろう流しと花火大会」が開かれ、会社の屋上に地域の人々が訪れともに行く夏を楽しみます。



【写真：花火大会】

技術系職員40名、総勢50名が東北の豊かな自然と優れた文化を保全・継承しながら、道路、河川、上下水道、農業生産基盤などの公共事業をとおして、国民の豊かな暮らしと安全・安心な地域や国土の創出に励んでまいりました。なんといっても私達の強みは、地域の基盤施設、暮らしの歴史や実情に長けた職員が多いことだと自負しております。近年、短時間豪雨による土砂災害などが多発する中、防災対策を推進するにあたり、対象施設の被災履歴をひも解き「施設の歴史、先人の知恵」を最大限に取り入れ、地域特性に応じた

安心・安全な施設設計に努めています。

東日本大震災では、被災地に本拠を置く建設コンサルタントとして地の利を活かし、被災地に耳を傾け地域が求めている復旧、そして地方創生を視野に入れた復興計画を提案してまいりました。

また、国土交通省が推進する「i-Construction（～建設現場の生産革命～）」にも弊社は積極的に参画しております。2010年3月には1台目のMMSを導入、2014年6月には2台目のMMSを導入しCIMなどへの新たな技術への活用を模索しています。

1台目のMMSにおいては、東日本大震災直後の査定資料作成に実際に用いられ、現地作業の省力化や机上査定時の解りやすさが高く評価されました。

サトー技建は、新技術にも積極的に参画しながら「先人の知恵」も最大限活用し、地域に根ざしたコンサルタントを目指してまいります。さらに、私達は地域社会から企業の存在価値が認められ、地域に貢献しながら更に期待される企業でありたいと思い、社員全員でそれらを認識し、建設コンサルタント協会の一員として活発な活動を続けてまいり所存です。

会員の皆様、どうぞ宜しくお願いします。



【写真：MMS(左)。動画系(右)】



株式会社 サトー技研 (平成28年1月31日入会)

本社：〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町一目6番1号 TEL：022-262-3535 FAX：022-266-7271

仙台技術センター：〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町一丁目4番20号3F

総合研究所：〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町一丁目1番23号イガストゲート河原町201

URL：<http://www.sgiken.co.jp>

会津若松ダイエツからの新会員便り

株式会社ダイエツ 執行役員 / 技術顧問 山 岸 俊 男

株式会社ダイエツの創立は、1973（昭和48）年4月、高度成長期の中で測量業務を中心にスタートしました。現在は44年目を迎えて社員数32名にて測量部門、地質調査部門、設計部門、メンテナンス部門の計4部門を展開する少数精鋭の総合建設コンサルタントを目指しています。

会津は3年前の大河ドラマ「八重の桜」で、その名を全国に広め、多くの方々に訪れていただいている歴史、文化、史跡などが残る街です。春は鶴ヶ城を取り巻く夜桜、夏は東山温泉や芦ノ牧温泉の盆踊り・夏祭り、秋は磐梯山をはじめとした山々の美しい紅葉、そして冬は裏磐梯でのスキーなど四季を通じて楽しめます。

弊社は、会津若松市に本社を置いて、県内を中心に営業展開しながら仙台、新潟に事務所を、南会津（下郷）、耶麻（猪苗代）、郡山、いわきに営業所を構えています。弊社の各部門を紹介します。測量部門は、公共測量・補償調査を中心に河川流量観測調査のほか、三次元レーザー測量・解析やCM事業にも参加しています。地質調査部門は、ボーリング調査、土質・岩石試験、物理探査を中心に地形・地質解析、水文調査や土壌調査・分析を行っています。また、地域の成り立ちから地形、地質の成因に至る過程を解き明かすことにより発注者の理解を深めて頂いています。

尚、平成28年8月には福島県から地質調査業務の優良委託業務表彰を受賞しました。

設計部門は、道路、河川、砂防、公園などの計画・設計や、まちづくり計画をはじめとした地域の方々との

協働事業など、積極的な技術提案を行い成果品の質の向上に努めています。

メンテナンス部門は、主にトンネルや橋梁等の点検を実施しています。適切な維持管理判定のため、画像計測・診断技術を導入し、点検年度毎の結果比較による劣化度判定など、分かりやすい情報提供を行っています。他に路面性状調査、砂防施設や土木構造物などの点検・診断、維持管理・修繕計画の立案等を行っています。

近年は、インフラのメンテナンス時代に入っていますので、メンテナンス部門を設けてトンネル、橋梁、下水道、共同溝など関係機関からの質問や要望にタイムリーに対応できる体制を整えています。地方の小さな会社ならではの利点を活かし、関係機関に頼りにされる総合建設コンサルタントを目指して、インフラ計画、整備、維持管理に努めてまいります。



桜咲く 鶴ヶ城

DAIETSU
株式会社 ダイエツ

所在地 〒965-0831 福島県会津若松市表町2番53号 TEL: 0242-26-1253 FAX: 0242-26-1297
URL <http://www.daietsu.co/>

平成28年度支部定時総会

4月22日（金）16：45からパレス宮城野において会員100社中68社が出席し、平成28年度支部定時総会が開催されました。



定時総会会場

議事は、遠藤支部長議長のもと、次の方々の議事録署名人を選出し議事に入った。

岩本 方克（㈱エイト日本技術開発 東北支社長）
大澤 聡（㈱片平エンジニアリング 東北支店長）

続いて、議案の審議が次のとおり進められました。

(1)平成27年度事業報告について

事務局長から一般報告として、会員数・内訳、事業報告として、各委員会の委員長から報告がありました。

(2)平成28年度事業計画

遠藤支部長から平成28年度の事業の基本方針として、

- ①東北地方の社会資本整備の担い手として、東日本大震災からの復興の加速化を支援すると共に、国民に豊かな生活、地域の安全・安心が保てる社会資本整備の必要性を訴えていく活動を実施する。
- ②魅力ある建設コンサルタントとするため、経営の

安定化に資する入札契約制度改善や受発注者協働による健全な労働環境の改善を提案し、担い手が集う環境の整備を進める。

- ③既定の災害協定の見直しと、まだ災害協定を締結していない東北各県に対して、締結に向けての検討を継続して進めていく。
- ④プロポーザル方式及び総合評価落札方式において、技術力を重視した方式や地域企業の参加可能な方式などを具体的に提案することにより、入札契約制度の改善を推進する。
- ⑤価格競争において、東北地方整備局における低価格入札対策の改善、地方自治体における低価格調査制度と失格基準の改善などを提案することにより、適正な競争制度の確立に寄与する。
- ⑥会員企業が優良な技術と知恵を持続的に提供し続けるために、技術者育成と更なる技術力向上に取り組む。
- ⑦建設コンサルタント活動領域拡大のため、発注者支援業務への積極的な取り組みと、CMなど新たな業務領域を提案する。また、多様なコンサルタントの活用を図り、品質向上を実現するため、設計協同体方式の更なる活用を提案する。
- ⑧不当な取引制限や不当な低価格競争等を排除し、企業倫理を遵守する。

の提案があり、続いて、各委員会の委員長から各々の委員会での事業計画の説明がなされた。

(3)平成28年度収支予算について

事務局長から説明があり、その後質疑があったが、質問はなく終了した。

第1号議案 平成27年度決算について

事務局長から決算報告の説明があり続いて、長瀬監事から会計監査結果報告がなされ、承認されました。

その他 意見・質問は無く、その後伊藤副支部長から閉会の挨拶があり、17：45時終了しました。

平成28年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会

7月6日（水）パレス宮城野において本部と東北地方整備局・東北各県及び仙台市との意見交換会を開催しました。

出席者

（東北地方整備局）

川瀧局長、安田副局長、笹川総務部長、筒井建政部長、野仲河川調査官、山田道路部長、中島港湾空港部長、横山技術調整管理官

（青森県）元永県土整備部理事

（岩手県）八重樫県土整備部河川港湾担当技監

（宮城県）後藤土木部次長（技術担当）

（秋田県）柴田建設部建設技監、

（山形県）會田県土整備部整備推進監（兼）次長、

（福島県）鈴木土木部技術管理課長

（仙台市）相沢都市整備局復興事業監

（建設コンサルタンツ協会）

長谷川会長、村田副会長、永治常任理事、高野常任理事、馬場常任理事、花岡常任理事、吉田対外活動部会委員、渡邊常任委員長、高野参与・企画部長、柳澤企画次長

（建設コンサルタンツ協会東北支部）

遠藤支部長、伊藤副支部長、江藤副支部長、中田対外活動委員長、松川広報委員長、中村総務部会長、三田技術部会長、村上情報部会長、菊池地域コン副委員長

はじめに東北地方整備局川瀧局長および建コン長谷川会長の挨拶、次に出席者紹介があり、次の様な意見交換が行われました。

意見交換

「建設コンサルタントの要望と提案」

1. 魅力ある建設コンサルタントに向けた担い手の育成・確保のための環境整備
2. 技術力による選定
3. 品質の確保・向上



（川瀧局長挨拶）



（長谷川会長挨拶）

9月1日「災害時対応演習」を実施

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方に激甚な被害をもたらしました。震災から5年半、復旧・復興へ向けて国、自治体あげて懸命の取り組みが続いております。東北支部も大震災では国、宮城県との災害協定に基づき、被災状況の調査などに取り組みましたが、この震災対応を今後の被害対応に生かすべく、東北各県との災害協定の締結を進めているところです。

建設コンサルタンツ協会では、毎年「災害時行動計画」に基づく演習を毎年実施しております。

本年度は9月1日(木)北陸地方(日本海沿岸地域)においてマグニチュード7.7の大規模地震が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で演習を実施しました。

- ①北陸支部に災害対策現地本部を設置するとともに本部に災害対策本部を設置
 - ・災害対策本部から各支部に対し災害対策の指示
 - ・上記指示に基づき支部長から災害対策支部員の招集、災害対策東北支部設置
 - ・災害対策東北支部から災害対策本部へ支部設置の報告
- ②災害対策支部員から「連絡会員」へ被害状況を携帯電話により照会
 - 連絡会員から被害状況をFAXにて受信
- ③災害対策本部及び災害対策現地本部から災害時行動支援の要請
- ④災害対策東北支部から「調査員の派遣」を協議・調査員派遣会員から災害地現地調査員の派遣の同意をFAXにて受診

今回の演習にあたり支部の「防災演習計画」及び進行予定表を作成し、その中で支部会員101社の内14社を「連絡会員」として、又11社を「災害現地調査派遣会員」と抽出し連絡伝達等の演習を行うこととした。

また、会員各社には、会社独自の演習を実施するよう要請しました。

- ※実施項目
1. 建物(特にエレベーター)、什器、備品類～損壊、転倒等の点検
 2. 停電、断水、ガス漏れの点検

3. 消火器(使用期限)、トランジスタラジオ、携帯電話、懐中電灯の点検
4. 非常用保存食品、救急医薬品、作業用具の点検
5. 出張職員等の安否の確認

今回の演習の通信連絡はEメール、FAX、電話の併用ですが、「災害伝言ダイヤル」も運用されました。「連絡会員」及び「災害現地調査会員」に指名されました会員各社には、ご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。



連絡会員会社に被災状況照会する災害対策東北支部員

連絡会員

(株)アーバン設計、(株)クレアリア、(株)構研エンジニアリング、(株)コンテック東日本、(株)寒河江測量設計事務所、(株)サトー技建、(株)新和調査設計、(株)創研コンサルタント、(株)高島テクノロジーセンター、(株)田村測量設計事務所、(株)ダイエツ、東邦技術(株)、復建調査設計(株)、富士コンサルタンツ(株)

災害現地調査会員

いであ(株)、基礎地盤コンサルタント(株)、国際航業(株)、(株)三協技術、セントラルコンサルタント(株)、中央コンサルタンツ(株)、(株)東京建設コンサルタント、(株)ネクスコ・エンジニアリング東北、三井共同建設コンサルタント(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)横浜コンサルティングセンター

EE東北'16について

去る平成28年6月1日から6月2日まで、最新の建設技術・工法を公開する「EE東北'09」が開催されました。

EE東北のEEは、Engineering Exhibitionの略で、平成2年から開催されており、今年で26回目の開催となります。「EE東北'16」では、『広げよう新技術 つなげよう未来へ』をテーマとして、304の出展者による832技術の展示が行われました。

主催はEE東北実行委員会（委員長：東北地方整備局 企画部長）一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、**一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部**、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社となっております。

今年度は国土交通省が生産性向上へ向けて推進する「i-Construction（アイコンストラクション）」の核となるICT技術を活用した新たな建設技術や長寿命化対策、予防保全技術などの最新技術を6つの分野に区分して技術の展示がされておりました。

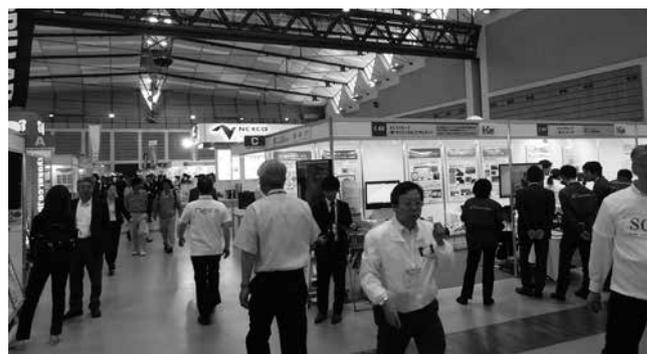
また、隣接会場では「i-Construction」技術の1つでもあり、普及が加速化しているUAV（ドローン）が2回目となる競技会が開催され、延べ1,800人が見学に訪れ、注目度の高さが伺えました。



EE東北実行委員会委員長による開会宣言
(東北地方整備局 企画部長)



東北地方整備局長挨拶



会場（屋内）

今年の会場の「夢メッセみやぎ」で屋内、屋外の両方の会場を設けており、天候にも恵まれ2日間で過去最高の14,200人(6月1日8,200人、6月2日6,000人)が来場しました。

建設事業に係る技術の進歩は著しいものがあり、出展された各社の新技術には目をみはるものがありました。

建設コンサルタンツ協会東北支部の会員企業は、アジア航測(株)、(株)ダイエツ、(株)八千代エンジニアリング、(株)パスコ、(株)応用地質、大日本コンサルタント(株)、中央復建コンサルタンツ(株)、川崎地質(株)、(株)復建技術コンサルタント、国際航業(株)、(株)ウヌマ地域総研、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)アサノ大成基礎エンジニアリング、(株)ダイヤコンサルタント、株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)東京建設コンサルタント、復建調査設計(株)、(株)建設技術研究所、(株)ドーコン、(株)ニュージェック、(株)昭和土木設計、日本工営(株)、(株)菊池技研コンサルタント、(株)長大、基礎地盤コンサルタンツ(株)、(株)福山コンサルタントが参加いたしました。

東北地方整備局 HP より抜粋 (公表名簿順)

平成 28 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 局長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株)長大 仙台支社	東北管内 I T S 調査検討業務	(管理技術者) 西坂 淳	仙台市 若林区	道 路 部	土 木 (道路)
(株)復建技術コンサルタント 青森支店	大長根橋梁詳細設計業務	(管理技術者) 鈴木 勝浩	青森県 青森市	青 森 河川国道	土 木 (橋梁)
東北地域づくり・建設技研・ 竹中土木・奥村 設計共同体 (一社)東北地域づくり協会・ (株)竹中土木・(株)奥村組)	宮古盛岡横断道路事業監理業務	(管理技術者) 津谷 昌彦	仙台市 青葉区	岩 手 河川国道	土 木 (道路)
八千代エンジニアリング (株) 岩手事務所	岩手山土砂災害検討業務	(管理技術者) 福塚 康三郎	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
日本工営 (株) 北東北事務所	岩手河川国道管内道路管理データ ベース更新業務	(管理技術者) 神林 翠	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (その他(情報))
みちのく・復建・三協・戸田 設計共同体 (みちのくコンサル タント (株)、(株)復建技 術コンサルタント、三協コン サルタント (株)、戸田建設 (株))	三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古田老工区)	(管理技術者) 大和 恒哉	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (道路)
清水・オリエンタルコンサル タンツ・URリンテージ・五洋・ 飛鳥 設計共同体 (清水建設 (株)、(株)オリエ ンタルコンサルタンツ、(株) URリンテージ、五洋建設 (株)、飛鳥建設 (株))	三陸沿岸道路事業監理業務 (普代久慈工区)	(管理技術者) 古戸 幸博	東京都 中央区	三陸国道	土 木 (道路)
鹿島・エンジニアリング東北・ 中央復建・三井住友 設計共 同体 (鹿島建設 (株)東北支店、(株) ネクスコ・エンジニアリング 東北、中央復建コンサルタン ツ (株)三陸営業所、三井住 友建設 (株)東北支店)	三陸沿岸道路事業監理業務 (山田宮古工区)	(管理技術者) 花輪 守	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (道路)
片平エンジニアリング・拓進 工営・日本国土開発 設計共 同体 (株)片平エンジニアリング 東北支店、(株)拓進工営、日 本国土開発 (株)東北支店)	三陸沿岸道路事業監理業務 (田老普代工区)	(管理技術者) 稲場 弘之	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (道路)
東北地域づくり・エイト日技・ 鉄建 設計共同体 (一社)東北地域づくり協会、 (株)エイト日本技術開発、鉄 建建設 (株))	三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古箱石工区)	(管理技術者) 永澤 新作	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (道路)
工営・関東・大成・福山 設 計共同体 (日本工営 (株)北東北事務所、 (一社)関東地域づくり協会、 大成建設 (株)東北支店、(株) 福山コンサルタント北東北事 務所)	三陸沿岸道路事業監理業務 (洋野工区)	(管理技術者) 中田 隆	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
(株)協和コンサルタンツ 岩手営業所	久慈洋野地区道路補足設計業務	(管理技術者) 中村 勇二	岩手県 奥州市	三陸国道	土 木 (道路)

特 集

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
パシコン・安藤ハザマ・不動産テトラ 設計共同体 (パシフィックコンサルタンツ(株)盛岡事務所、(株)安藤・間東北支店、(株)不動産テトラ東北支店)	三陸沿岸道路事業監理業務 (釜石山田工区)	(管理技術者) 鈴木 剛	岩手県盛岡市	南三陸国道	土木 (道路)
熊谷組・三井共同建設コンサルタンツ・公共用地補償機構・オリエンタル白石 設計共同体 (熊谷組、三井共同建設コンサルタンツ(株)、(一財)公共用地補償機構、オリエンタル白石(株))	三陸沿岸道路事業監理業務 (吉浜釜石工区)	(管理技術者) 広瀬 俊文	東京都新宿区	南三陸国道	土木 (道路)
長大・ドーコン・ウヌマ地域総研・前田建設工業 設計共同体 (長大仙台支社、(株)ドーコン東北支店、(株)ウヌマ地域総研、前田建設工業(株)東北支店)	三陸沿岸道路事業監理業務 (陸前高田工区)	(管理技術者) 河村 昌平	仙台市若林区	南三陸国道	土木 (道路)
(株)東京建設コンサルタンツ東北支社	名取川防災拠点外詳細設計業務	(管理技術者) 岡井 春樹	仙台市青葉区	仙 台 河川国道	土木 (河川)
(株)パスコ 仙台支店	仙台湾南部海岸航空写真測量業務	(主任技術者) 野口 卓	仙台市宮城野区	仙 台 河川国道	測 量
(株)福山コンサルタンツ東北支社	仙台管内道路整備のあり方検討業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市青葉区	仙 台 河川国道	土木 (道路)
三陸沿岸道路事業監理業務 大日本コンサルタンツ・北光コンサル・西松建設 設計共同体 (大日本コンサルタンツ(株)東北支社、北光コンサル(株)、西松建設(株)東北支店)	三陸沿岸道路事業監理業務 (歌津本吉工区)	(管理技術者) 伝谷 恵一	仙台市青葉区	仙 台 河川国道	土木 (道路)
旧北上川河口部河道景観検討業務 建設環境研究所・プランニングネットワーク 設計共同体 (建設環境研究所、(株)プランニングネットワーク)	旧北上川河口部河道景観検討業務	(管理技術者) 篠崎 伸	東京都豊島区	北 上 川 下流河川	土木 (その他(景観))
エイト技術(株)	旧北上川左岸不動町二丁目地区用地調査等業務	(主任担当者) 竹ヶ原 秀晴	青森県八戸市	北 上 川 下流河川	補 償
(株)地圏総合コンサルタンツ仙台支店	子吉川堤防解析業務	(管理技術者) 上籠 洋昭	仙台市青葉区	秋 田 河川国道	土木 (河川)
(株)ウヌマ地域総研	秋田管内河川管理施設補修設計業務	(管理技術者) 赤川 浩輝	秋田県秋田市	秋 田 河川国道	土木 (河川)
三井共同建設コンサルタンツ(株)東北支社	米代川浸水想定区域検討業務	(管理技術者) 四位 和彦	仙台市青葉区	能 代 河川国道	土木 (河川)
日本工営(株)仙台支店	成瀬ダム堤体設計検討業務	(管理技術者) 江藤 等	仙台市青葉区	成瀬ダム工 事	土木 (ダム)
(株)ダイヤコンサルタンツ東北支社	鳥海ダムダムサイト左岸地質調査	(主任技術者) 伊藤 靖雄	仙台市青葉区	鳥海ダム工 事	地 質
(株)オリエンタルコンサルタンツ山形事務所	山形管内交通安全事業整備効果等調査検討業務	(管理技術者) 松戸 努	山形県山形市	山 形 河川国道	土木 (道路)
三井共同建設コンサルタンツ(株)東北支社	酒田北地区道路詳細設計業務	(管理技術者) 宮内 泉	仙台市青葉区	酒 田 河川国道	土木 (道路)
(株)福山コンサルタンツ東北支社	福島管内道路事業調査業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市青葉区	福 島 河川国道	土木 (道路)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
中央復建コンサルタンツ (株) 東北支社	掛田橋詳細設計業務	(管理技術者) 福田 秋 則	仙台市 青葉区	福 島 河川国道	土 木 (橋梁)
国際航業 (株) 福島営業所	郡山管内防災・構造物点検補修計画 検討業務	(管理技術者) 中村 芳 貴	福島県 郡山市	郡山国道	土 木 (道路)
陸奥テックコンサルタント (株)	勿来地区測量業務	(主任技術者) 増子 利 勝	福島県 郡山市	磐城国道	測 量
(株) オリエンタルコンサルタンツ 福島事務所	相馬西道路トンネル防災設備等詳細 設計業務	(管理技術者) 浅野 豊	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 (電気通信)
白川ダム総合点検業務 ニュージェック・ダム技術セ ンター 設計共同体 ((株) ニュージェック東北支 店、(一財) ダム技術センター)	白川ダム総合点検業務	(管理技術者) 新家 拓 史	仙台市 青葉区	最上川ダム 統合管理	土 木 (ダム)
鳴子ダム水源地域連携検討業 務水源地環境センター・東京 建設コンサルタント 設計共 同体 ((一財) 水源地環境センター、 (株) 東京建設コンサルタント)	鳴子ダム水源地域連携検討業務	(管理技術者) 矢沢 賢 一	東京都 千代田区	鳴子ダム	土 木 (ダム)
応用地質 (株) 東北支社	釜房ダム水辺現地調査 (動植物プラ ンクトン・ダム湖環境基図) 業務	(管理技術者) 播磨 さおり	仙台市 宮城野区	釜房ダム	土 木 (環境調査)
(株) 地圏総合コンサルタン ト 仙台支店	堤防安全性評価検討業務	(管理技術者) 佐渡 耕一郎	仙台市 青葉区	東北技術	土 木 (河川)
ドーコン・愛植物設計事務所 設計共同体 ((株) ドーコン東北支店、(株) 愛植物設計事務所)	宮城県における国営追悼・祈念施設 基本設計業務	(管理技術者) 福原 賢 二	仙台市 青葉区	東 北 国営公園	土 木 (その他 (公園))
小名浜港臨港道路維持管理技 術検討業務 沿岸技術研究セン ター・オリエンタルコンサル タンツ 設計共同体 ((一財) 沿岸技術研究セン ター、(株) オリエンタルコン サルタンツ)	小名浜港臨港道路維持管理技術検討 業務	(管理技術者) 稲田 勉	東 京 都 港 区	小名浜港湾	港 湾 (維持管理計画調査)

東北地方整備局 HP より抜粋（公表名簿順）

平成 28 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 事務所長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
エイト技術（株）	桑野木田地区河道掘削用地調査等業務	（主任担当者） 小笠原 健一	青森県 八戸市	青 森 河川国道	補 償
（株）東京建設コンサルタント 青森事務所	津軽道路設計業務	（管理技術者） 滝 澤 稔	青森県 青森市	青 森 河川国道	土 木 （道 路）
（株）建設環境研究所 東北支社	高瀬川治水事業環境検討業務	（管理技術者） 町 田 禎 之	仙台市 青葉区	高瀬川河川	土 木 （河川）
（株）建設環境研究所 東北支社	津軽ダム水源地域ビジョン検討業務	（管理技術者） 綿 貫 建	仙台市 青葉区	津軽ダム 工 事	土 木 （ダム）
国際航業（株） 青森営業所	津軽ダム貯水池詳細地形測量等業務	（主任技術者） 福 島 昇	青森県 青森市	津軽ダム 工 事	測 量
（株）ニュージェック 東北支店	津軽ダム試験湛水計画検討業務	（管理技術者） 松 井 潤 一	仙台市 青葉区	津軽ダム 工 事	土 木 （ダム）
エイト技術（株）	三ヶ尻交差点改良用地調査等業務	（主任担当者） 太 田 勝 久	青森県 八戸市	岩 手 河川国道	補 償
パシフィックコンサルタンツ（株） 盛岡事務所	北上川上流和賀川外環境調査業務	（管理技術者） 鬼久保 浩正	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 （河川）
大日本コンサルタント（株） 盛岡事務所	三陸国道管内道路測量設計業務	（管理技術者） 松 山 一 昭	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 （道路）
セントラルコンサルタント（株） 東北支社盛岡営業所	三陸国道管内測量設計業務	（管理技術者） 糸 井 秀 実	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 （道路）
（株）長大 仙台支社	普代久慈地区道路補足設計業務	（管理技術者） 江 中 正 宏	仙台市 若林区	三陸国道	土 木 （道路）
（株）ウヌマ地域総研	田老普代地区道路補足設計業務	（管理技術者） 高 橋 誠	秋田県 秋田市	三陸国道	土 木 （道路）
いであ（株） 東北支店	道の駅「高田松原」測量設計業務	（管理技術者） 佐々木 貢	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 （道路）
（株）東京建設コンサルタント 東北支社	宮古箱石地区環境調査	（管理技術者） 小 坂 秀 樹	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 （環境調査）
（株）復建技術コンサルタント 盛岡支店	三陸北水文調査	（主任技術者） 奈 倉 弘	岩手県 盛岡市	三陸国道	地 質
唐桑高田地区道路設計業務 オリエンタルコンサルタンツ・ 菊池技研コンサルタント 設計 共同体	唐桑高田地区道路設計業務	（管理技術者） 藤 原 重 雄	東京都 渋谷区	南三陸国道	土 木 （道路）
大日本コンサルタント（株） 盛岡事務所	小佐野地区橋梁詳細設計業務	（管理技術者） 佐々木 光晴	岩手県 盛岡市	南三陸国道	土 木 （橋梁）
セントラルコンサルタント（株） 東北支社盛岡営業所	釜石山田地区道路設計業務	（管理技術者） 竹 内 徹	岩手県 盛岡市	南三陸国道	土 木 （道路）
（株）エイト日本技術開発 東北支社	三陸沿岸道路気仙沼地区トンネル設計 業務	（管理技術者） 鷲 尾 寛	仙台市 若林区	仙 台 河川国道	土 木 （トンネル）
（株）三和技術コンサルタント	気仙沼唐桑南間（大峠山地区）用地調 査等業務	（主任担当者） 安 達 哲 哉	山形県 村山市	仙 台 河川国道	補 償
セントラルコンサルタント（株） 東北支社	本吉気仙沼道路本吉気仙沼地区道路測 量設計業務	（管理技術者） 糸 井 秀 実	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 （道路）
三井共同建設コンサルタント（株） 東北支社	阿武隈川下流下名生地区外築堤予備設 計業務	（管理技術者） 本 田 正 修	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 （河川）
（株）東京建設コンサルタント 東北支社	北上川下流魚道調査検討業務	（管理技術者） 池 村 彰 人	仙台市 青葉区	北 上 川 下流河川	土 木 （環境調査）
基礎地盤コンサルタンツ（株） 東北支社	吉田川等堤防被災状況調査	（主任技術者） 西 俊 憲	仙台市 宮城野区	北 上 川 下流河川	地 質

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株) 東建工営	北上川下流河川事務所改修 (鳴瀬川)・管理技術資料作成業務	(管理技術者) 高橋 忠男	宮城県 名取市	北 上 川 下 流 河 川	土 木 (その他(発注者支援))
日本工営 (株) 仙台支店	鳴瀬川総合開発ダム本体概略設計業務	(管理技術者) 中村 浩之	仙台市 青葉区	鳴瀬川総合 開発調査	土 木 (ダム)
(株) 建設環境研究所 東北支社	鳴瀬川総合開発陸域等環境調査業務	(管理技術者) 河野 正弘	仙台市 青葉区	鳴瀬川総合 開発調査	土 木 (環境調査)
川崎地質 (株) 北日本支社	鳴瀬川総合開発ダムサイト左岸地質調査業務	(主任技術者) 榊原 信夫	仙台市 宮城野区	鳴瀬川総合 開発調査	地 質
(株) オリエンタルコンサルタンツ 秋田事務所	交通事故対策検討業務	(管理技術者) 松戸 努	秋田県 秋田市	秋 田 河 川 国 道	土 木 (道路)
(株) 福山コンサルタント 東北支社	秋田管内道路整備効果検討業務	(管理技術者) 平柳 圭	仙台市 青葉区	秋 田 河 川 国 道	土 木 (道路)
東京コンサルタンツ (株) 東北支店	雄物川下流清水木排水樋管詳細設計業務	(管理技術者) 松川 秀敏	仙台市 青葉区	秋 田 河 川 国 道	土 木 (河川)
(株) ウヌマ地域総研	上院内字雄勝山地区用地調査等業務	(主任担当者) 橋本 治彦	秋田県 秋田市	湯 沢 河 川 国 道	補 償
川崎地質 (株) 北日本支社	横堀地区地質調査業務	(主任技術者) 山邊 晋	仙台市 宮城野区	湯 沢 河 川 国 道	地 質
(株) オリエンタルコンサルタンツ 秋田事務所	湯沢管内交通事故検討業務	(管理技術者) 松戸 努	秋田県 秋田市	湯 沢 河 川 国 道	土 木 (道路)
(株) ドーコン 東北支店	雄勝地区道路計画検討業務	(管理技術者) 皆川 佳之	仙台市 青葉区	湯 沢 河 川 国 道	土 木 (道路)
(株) 福山コンサルタント 東北支社	能代管内整備効果把握検討業務	(管理技術者) 原田 慎也	仙台市 青葉区	能 代 河 川 国 道	土 木 (道路)
日本工営 (株) 仙台支店	二ツ井今泉道路地質検討業務	(主任技術者) 鈴木 弘明	仙台市 青葉区	能 代 河 川 国 道	地 質
朝日航洋 (株) 東北空情支社	森吉山ダム貯水池堆砂及び横断測量	(主任技術者) 羽山 洋一	仙台市 泉 区	能 代 河 川 国 道	測 量
(株) ウヌマ地域総研	米代川定期縦横断測量	(主任技術者) 菅原 忠昭	秋田県 秋田市	能 代 河 川 国 道	測 量
(株) 東建工営	能代管内道路維持工事監督支援業務	(管理技術者) 安田 哲宏	宮城県 名取市	能 代 河 川 国 道	土 木 (その他(発注者支援))
八千代エンジニアリング (株) 東北支店	成瀬ダム取水放流設備設計業務	(管理技術者) 藤原 崇	仙台市 青葉区	成瀬ダム 工 事	土 木 (ダム)
応用地質 (株) 東北支社	鳥海ダムダムサイト右岸地質調査	(主任技術者) 根本 雅夫	仙台市 宮城野区	鳥海ダム 工 事	地 質
山形北部地区道路検討業務 オリエンタルコンサルタンツ・アサノ大成基礎エンジニアリング 設計共同体	山形北部地区道路検討業務	(管理技術者) 木村 重喜	山形県 山形市	山 形 河 川 国 道	土 木 (道路)
(株) 片平エンジニアリング 東北支店	泉田道路計画設計業務	(管理技術者) 眞行寺 暢彦	仙台市 青葉区	山 形 河 川 国 道	土 木 (道路)
いであ (株) 東北支店	最上川上流河川整備検討業務	(管理技術者) 小原 一哉	仙台市 青葉区	山 形 河 川 国 道	土 木 (河川)
(株) 地圏総合コンサルタント 仙台支店	吹浦地区地質調査業務	(主任技術者) 中川 清森	仙台市 青葉区	酒 田 河 川 国 道	地 質
国際航業 (株) 山形営業所	酒田管内防災点検業務	(管理技術者) 近藤 敏光	山形県 山形市	酒 田 河 川 国 道	土 木 (道路)
中央復建コンサルタンツ (株) 東北支社	早田地区トンネル詳細設計業務	(管理技術者) 山本 雅広	仙台市 青葉区	酒 田 河 川 国 道	土 木 (トンネル)
(株) 東京建設コンサルタント 東北支社	最上川・赤川津波浸水予測検討業務	(管理技術者) 碓 正敬	仙台市 青葉区	酒 田 河 川 国 道	土 木 (河川)
(株) 三和技術コンサルタント	早田地区用地調査等業務	(主任担当者) 後藤 秀悦	山形県 村山市	酒 田 河 川 国 道	補 償

特 集

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
東邦技術 (株)	七兵衛沢砂防堰堤用地調査等業務	(主任担当者) 菅原 次雄	秋田県 大仙市	新庄河川	補 償
(株) 復建技術コンサルタント 福島支店	福島管内交差点外設計業務	(管理技術者) 栗田 俊一	福島県 郡山市	福島 河川国道	土 木 (道路)
(株) 地圏総合コンサルタント 仙台支店	吾妻山火山噴火緊急減災対策行動計画 検討業務	(管理技術者) 内柴 良和	仙台市 青葉区	福島 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
日本工営 (株) 福島営業所	須川流域不動沢砂防堰堤詳細設計業務	(管理技術者) 鈴木 滋	福島県 福島市	福島 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
(株) 橋梁コンサルタント 東京支社	福島管内トンネル点検業務	(管理技術者) 富山 毅	東京都 豊島区	福島 河川国道	土 木 (トンネル)
(株) 建設技術研究所 東北支社	阿武隈川上流御代田地区他構造物設計 検討業務	(管理技術者) 加谷 一人	仙台市 青葉区	福島 河川国道	土 木 (河川)
パシフィックコンサルタンツ(株) 福島事務所	福島西道路環境調査業務	(管理技術者) 鬼久保 浩正	福島県 郡山市	福島 河川国道	土 木 (環境調査)
陸奥テックコンサルタント(株)	阿武隈川上流荒川地区緊急測量等作業	(主任技術者) 武藤 吉秀	福島県 郡山市	福島 河川国道	測 量
(株) 東京建設コンサルタント 福島事務所	阿武隈川上流浸水想定区域検討業務	(管理技術者) 碓 正 敬	福島県 福島市	福島 河川国道	土 木 (河川)
(株) オリエンタルコンサルタンツ 福島事務所	柱田トンネル詳細設計業務	(管理技術者) 西川 修	福島県 郡山市	福島 河川国道	土 木 (トンネル)
(株) 田村測量設計事務所	不動沢第4砂防堰堤国有林所管換測量 業務	(主任担当者) 本間 東洋	山形県 山形市	福島 河川国道	補 償
(株) 福山コンサルタント 東北支社	郡山国道管内整備効果検討業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市 青葉区	郡山国道	土 木 (道路)
(株) 庄内測量設計舎	鏡石地区用地調査等業務	(主任担当者) 長谷川 仁	山形県 庄内町	郡山国道	補 償
(株) 構研エンジニアリング	久之浜地区道路詳細設計業務	(管理技術者) 岡田 洋一	北海道 札幌市	磐城国道	土 木 (道路)
(株) 三和技術コンサルタント	北好間地区外権利者調査等業務	(主任担当者) 若月 正好	山形県 村山市	磐城国道	補 償
(株) 福山コンサルタント 東北支社	磐城管内道路整備計画検討業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市 青葉区	磐城国道	土 木 (道路)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社 福島営業所	北好間地区道路詳細設計業務	(管理技術者) 糸井 秀実	福島県 福島市	磐城国道	土 木 (道路)
日本工営 (株) 福島営業所	磐城国道管内電気通信設備詳細設計業 務	(管理技術者) 中込 徹	福島県 福島市	磐城国道	土 木 (電気通信)
(株) 橋梁コンサルタント 東京支社	相馬西道路トンネル機械設備等詳細設 計業務	(管理技術者) 山口 将一	東京都 豊島区	磐城国道	土 木 (電気通信)
応用地質 (株) 東北支社	田瀬ダム・湯田ダム水辺現地調査(両 生類他)業務	(管理技術者) 播磨 さおり	仙台市 宮城野区	北上川ダム 統合管理	土 木 (ダム)
(株) アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社	四十四田ダム堆積物調査	(主任技術者) 遠藤 則夫	仙台市 若林区	北上川ダム 統合管理	地 質
(株) パスコ 山形支店	寒河江ダム貯水池堆砂測量	(主任技術者) 日吉 昌史	山形県 山形市	最上川ダム 統合管理	測 量
新和設計 (株)	白川ダム流量観測及び採水等調査	(主任技術者) 安部 権祐	山形県 米沢市	最上川ダム 統合管理	土 木 (ダム)
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	浅瀬石川ダム水辺現地調査(ダム湖環 境基図作成)業務	(管理技術者) 中田 泰輔	仙台市 青葉区	浅瀬石川 ダ ム	土 木 (ダム)
日本工営 (株) 仙台支店	鳴子ダム地すべり調査解析業務	(主任技術者) 金子 和亮	仙台市 青葉区	鳴子ダム	地 質
(株) 建設技術研究所 東北支社	玉川ダム堤体等管理検討業務	(管理技術者) 小林 裕	仙台市 青葉区	玉川ダム	土 木 (ダム)
東邦技術 (株)	玉川ダム構造物設計業務	(管理技術者) 照井 繁	秋田県 大仙市	玉川ダム	土 木 (河川)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
三春ダム水質総合評価調査検討業務 水源地環境センター・日水コン 設計共同体	三春ダム水質総合評価調査検討業務	(管理技術者) 木村 文宣	東京都千代田区	三春ダム	土 木 (ダム)
日本工営 (株) 仙台支店	除雪作業の安全性向上等に関する検討業務	(管理技術者) 神林 翠	仙台市青葉区	東北技術	土 木 (道路)
(株) 復建技術コンサルタント	R C床版の維持補修等に関する検討業務	(管理技術者) 飯土井 剛	仙台市青葉区	東北技術	土 木 (橋梁)
(株) パスコ 仙台支店	河川施設点検計測技術検討業務	(主任技術者) 近 政 英	仙台市宮城野区	東北技術	測 量
パシフィックコンサルタンツ (株) 東北支社	コンクリート品質管理データベース利活用検討業務	(管理技術者) 大坂 祐造	仙台市青葉区	東北技術	土 木 (その他(情報))
コンクリート舗装の維持補修に関する検討業務 オリエンタルコンサルタンツ・レインボー・コンサルタント 設計共同体	コンクリート舗装の維持補修に関する検討業務	(管理技術者) 植田 知孝	仙台市青葉区	東北技術	土 木 (道路)
日本工営 (株) 仙台支店	三沢飛行場エプロン改良外実施設計	(管理技術者) 清田 直紀	仙台市青葉区	八 戸 港湾・空港	港 湾 (設計)
国際航業 (株) 秋田営業所	秋田港飯島地区防波堤 (新北) 現況調査	(管理技術者) 田邊 光一	秋田県秋田市	秋田港湾	港 湾 (測量)
中央復建コンサルタンツ (株) 東北支社	青森港岸壁改良詳細設計	(管理技術者) 中野 尊之	仙台市青葉区	仙台港湾空港技術調査	港 湾 (設計)

東北地方整備局 HP より抜粋 (公表名簿順)

平成 28 年度 東北支部会員 東北地方整備局 災害対策功労者 一覧

指名・団体名	功績概要	企業所在地	所管事務所
(株) パスコ 青森支店	平成 28 年 1 月南岸低気圧の暴風により青森県むつ小川原港で発生した災害に際し、ICT 技術を活用して防波堤全体の詳細な被災状況を迅速に把握し、復旧の検討に必要な資料の早期とりまとめに尽力した。	青森県青森市	八 戸 港湾・空港
東京コンサルタンツ (株) 東北支店	関東・東北豪雨	仙台市青葉区	北 上 川 下 流 河 川
(株) 三協技術	関東・東北豪雨	仙台市青葉区	北 上 川 下 流 河 川
川崎地質 (株) 北日本支社	関東・東北豪雨	仙台市宮城野区	北 上 川 下 流 河 川

遠藤支部長 国土交通大臣表彰を受賞

平成 28 年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式が 7 月 11 日（月）11 時から国土交通省 10 階共用会議室において、石井啓一国土交通大臣はじめ国土交通省幹部及びご来賓の方々のご列席のもと、「平成 28 年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式」が執り行われ、東北支部長であり本部常任理事である遠藤敏雄氏が国土交通大臣表彰を受賞されました。

遠藤支部長は昭和 50 年 4 月に建設コンサルタント業界に身を投じた以降、一貫して技術者として、また、経営者として民間関係並びに団体関係を通じ、土木技術の向上や建設コンサルタントの地位向上に尽力されました。

また、この間の平成 21 年からは東北支部長に就任され、平成 23 年には本部理事、その後常任理事に就任され、建設コンサルタント業界全体の技術力向上、業務の改善に積極的に力を注いでこれ、その功績は大きくこの度の受賞となりました。

遠藤支部長、国土交通大臣表彰おめでとうございます。



[支部だより]

4月12日(火)

平成 27 年度会計監査
場 所／支部会議室

4月12日(火)

第 1 回役員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)平成 28 年度支部定時総会について
(2)各分会・委員会からの報告事項
(3)その他

4月22日(金)

役員会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成 28 年度支部定時総会について
(2)その他

4月22日(金)

定時総会講演会
場 所／パレス宮城野
講 演：「変わります。東北」
東北地方整備局 局長 川瀧 弘之 氏
参加者 103 名

4月22日(金)

平成 28 年度支部定時総会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成 27 年度事業報告について
(2)平成 28 年度事業計画について
(3)平成 28 年度収支予算書について
(4)平成 27 年度決算報告について
そ の 他
100 社中 68 社出席

4月25日(月)

対外活動委員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)平成 27 年度東北地方整備局との意見交
換会報告
(2)本部との意見交換会・各県意見交換会報告
(3)平成 28 年度予定
(4)その他

5月18日(水)

技術部会総会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成 27 年度事業報告について
(2)平成 28 年度事業計画について
(3)その他

5月19日(木)

情報部会
場 所／支部会議室
議 題／(1)今年度の各WG活動計画
(2)各種講習会の開催計画
(3)その他

5月24日(火)

第 2 回役員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)本部・整備局意見交換会について
(2)各分会・委員会からの提案、連絡事項につ
いて
(3)その他

5月27日(金)

総務部会
場 所／事務局会議室
議 題／(1)平成 28 年度総務部会事業計画について
(2)その他

5月31日(火)～6月1日(水)

青森県建設技術センター平成 28 年度「土質研修会」
へ講師派遣
講 師／正岡 裕之 (応用地質(株))
今村 隆弘 (株復建技術 C)
山口 淳熙 (大日本 C(株))
鏡 幸二 (大日本 C(株))

5月31日(火)～6月3日(金)

道路橋メンテナンス技術講習会
場 所／TKP 仙台カンファレンスセンター 他
主催 本部・全国建設研修センター
東北支部 技術部会 (現場実習 担当)
参加者 46 名

6月13日(月)

対外活動委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 28 年度各県意見交換会の議題について
(2)各委員会からの議題 (案) について
(3)意見交換会の日程調整について

6月14日(火)

広報委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 28 年度講演会について
(2)J C C A TOHOKU54 号役割について
(3)その他

6月15日(水)

三次元CADハンズオン講習会

場 所／アーク仙台ビル会議室

主 催 東北支部 情報部会 受講者 25 名

6月17日(金)

第 3 回役員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 28 年度本部・整備局意見交換会について
(2)各委員会からの提案議題・連絡事項
(3)その他

6月29日(水)

第 1 回地域コン委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 28 年度地域コン委員会活動方針
(2)国土交通省のヒアリング内容について
(3)その他

6月30日(木)～7月1日(金)

CIMハンズオン講習会

場 所／アーク仙台ビル会議室

主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 CIM 技術専門委員会
東北支部 情報部会 受講者 両日 20 名

7月6日(水)

本部・整備局意見交換会

東北地方整備局 川瀧局長 他 14 名

本部 長谷川会長 他 9 名

支部 遠藤支部長 他 8 名

議 題

1. 平成 28 年度建設コンサルタントの要望と提案
2. 意見交換

7月12日(火)

情報セキュリティ講習会

場 所／パレス宮城野

主 催 本部 情報部会情報セキュリティ専門委員会
受講者 両日 66 名

7月13日(水)

対外活動委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)東北 6 県各自自治体の調報制度について
(2)整備局・本部との意見交換会について
(3)各県意見交換会年間スケジュール

7月14日(木)・15日(金)

G I S 講習会

場 所／アーク仙台ビル 会議室

主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 ICT 普及専門委員会
支部 情報部会 受講者 両日 20 名

7月19日(火)

平成 27 年度東北地方整備局国土交通行政関係

功労者表彰式

東北地方整備局では国土交通行政関係功労者に対して表彰式を行っています。

本年度は優良業務施行会社、災害対策功労者として、次の会員の方々が受賞されました。

誠にありがとうございます。

[優良業務施行会社]

(株)長大 仙台支社

東北管内 I T S 調査検討業務

(株)復建技術コンサルタント 青森支店

大長根橋梁詳細設計業務

八千代エンジニアリング(株) 岩手事務所

岩手山土砂災害検討業務

日本工営(株) 北東北事務所

岩手河川国道管内道路管理データベース更新業務

(株)復建技術コンサルタント

三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古田老工区)

三協コンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古田老工区)

(株)オリエンタルコンサルタンツ

三陸沿岸道路事業監理業務 (普代久慈工区)

(株)ネクスコ・エンジニアリング東北

三陸沿岸道路事業監理業務 (山田宮古工区)

中央復建コンサルタンツ(株) 三陸営業所

三陸沿岸道路事業監理業務 (山田宮古工区)

(株)片平エンジニアリング 東北支店

三陸沿岸道路事業監理業務 (田老普代工区)

支部だより

(株)エイト日本技術開発
三陸沿岸道路事業監理業務（宮古箱石工区）
(株)福山コンサルタント 北東北事務所
三陸沿岸道路事業監理業務（洋野工区）
(株)協和コンサルタンツ 岩手営業所
久慈洋野地区道路補足設計業務
パシフィックコンサルタンツ(株) 盛岡事務所
三陸沿岸道路事業監理業務（釜石山田工区）
三井共同建設コンサルタント(株)
三陸沿岸道路事業監理業務（吉浜釜石工区）
(株)ドーコン 東北支店
三陸沿岸道路事業監理業務（陸前高田工区）
(株)ウヌマ地域総研
三陸沿岸道路事業監理業務（陸前高田工区）
(株)東京建設コンサルタント 東北支社
名取川防災拠点外詳細設計業務
(株)パスコ 仙台支店
仙台湾南部海岸航空写真測量業務
(株)福山コンサルタント 東北支社
仙台管内道路整備のあり方検討業務
福島管内道路事業調査業務
大日本コンサルタント(株) 東北支社
三陸沿岸道路事業監理業務（歌津本吉工区）
(株)建設環境研究所
旧北上川河口部河道景観検討業務
エイト技術(株)
旧北上川左岸不動町二丁目地区用地調査等業務
(株)地圏総合コンサルタント 仙台支店
子吉川堤防解析業務
堤防安全性評価検討業務
(株)ウヌマ地域総研
秋田管内河川管理施設補修設計業務
三井共同建設コンサルタント(株) 東北支社
米代川浸水想定区域検討業務
酒田北地区道路詳細設計業務
日本工営(株) 仙台支店
成瀬ダム堤体設計検討業務
(株)ダイヤコンサルタント 東北支社
鳥海ダムサイト左岸地質調査
(株)オリエンタルコンサルタンツ 山形事務所
山形管内交通安全事業整備効果等調査検討業務

7月21日(木)

「マネジメントセミナー」
場 所／ホテル法華クラブ仙台
主 催 本部 受講者 100 名

7月22日(金)

第4回役員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)各県意見交換会について
(2)各部会・委員会からの連絡事項
(3)その他

7月25日(月)

経営者委員会
場 所／ホテル法華クラブ仙台
議 題／(1)本部・整備局意見交換会について
(2)本部地域コンサルタント委員会の報告
講演会「コンプライアンスに関わる最近の動向と取るべき対応について」
講師：本部コンプライアンス委員会 委員長 町田 聡 氏

7月27日(水)

技術部会（地盤専門委員会）
場 所／支部会議室

7月28日(木)

宮城県建設センター平成28年度 技術研修会へ
講師派遣
講 師／石井 一人（パシフィックC(株)）

8月3日(水)

情報部会
場 所／支部会議室
議 題／(1)HP更新について
(2)ICT普及専門委員会講習会について
(3)今年度の各WG活動計画について

8月5日(金)

技術部会（道路専門委員会）
場 所／支部会議室

8月22日(月)

技術部会（構造・道路専門委員会）
場 所／支部会議室

8月25日(木)

福島県土木部職員専門研修「監督業務（工事監理）」
講師派遣
講 師／小山 滋人（日本工営(株)）

8月26日(金)

総務部会

場 所／支部会議室

議 題／(1)今後の役割分担の再確認について
(2)交流会の最終確認事項について
(3)その他

9月1日(木)

災害時対応演習 [11:00～15:00]

11:00 北陸地方日本海沿岸地域においてマグニチュード7.7の大規模地震が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で災害対策支部員を招集、会員の被災状況を把握するため、予め決めていた連絡会員会社14社へ携帯電話により被害状況照会、会員より被害状況をFAXにより受信。

また、被災現地への派遣のため、予め決めていた災害現地調査派遣会員11社と協議・派遣等の訓練を実施した。

9月2日(金)

広報委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)J C C A TOHOKU54の編集について
(2)その他

9月3日(土)

建コン交流会

場 所／天童 道の駅「天童」、
将棋村 天童タワー、天童ワイン
参加者 44名

9月8日(木)

東北技術事務所「構造物基礎技術講習会(擁壁編)」

へ講師派遣

講 師／北原 一彦 (株オリエンタルC)
石橋 努 (株復建技術C)

9月8日(木)

福島県土木部職員専門研修「主査クラス」へ講師派遣

講 師／砂糖 和憲 (陸奥テックC(株))

9月13日(火)

技術部会(道路専門委員会)

場 所／支部会議室

9月14日(水)

対外活動委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成28年度各県との意見交換会について
(2)議題(案)の検討
(3)その他

9月20日(火)

広報委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)J C C A TOHOKU54の編集について
(2)その他

9月28日(水)

岩手県との意見交換会

場 所／エスポワールいわて

岩手県 八重樫河川港湾担当技監他 6名
協会 遠藤支部長他 15名

議 題／建コンからの提案議題

- (1)魅力ある建設コンサルタントに向けた担い手の育成・確保のための環境整備
- (2)技術力重視による選定
- (3)品質の確保・向上
- (4)そ の 他

9月28日(水)～29日(木)

福島県土木部職員専門研修「長寿命化修繕計画」

へ講師派遣

講 師／石井 一人 (パシフィックC(株))
三浦 俊史 (株近代設計)
櫻井 寿樹 (中央C(株))
尾崎 裕司 (日本工営(株))

9月29日(木)～30日(金)

岩手県土木技術専門研修「土木構造物実習、道路・

河川計画」へ講師派遣

講 師／岡田 篤 (大日本C(株))
木村 重喜 (株オリエンタルC)
堀合 孝博 (パシフィックC(株))
開米 浩久 (株復建技術C)
内田 浩勝 (株建設技術研究所)

9月30日(金)

宮城県建設センター平成28年度技術研修「土質

調査の基礎」へ講師派遣

講 師／今村 隆広 (株復建技術C)
正岡 裕之 (応用地質(株))
梶原 保志 (株福山C)

[会員の動向]

◆ 新入会員の紹介

- 平成28年5月1日入会 (株)ダイエツ
代表取締役 大塚 修一
〒965-0831 福島県会津若松市表町2-53
TEL 0242-26-1253 FAX 0242-26-1297
- 平成28年7月1日入会 (株)新和調査設計
代表取締役 飯澤 久
〒963-8016 福島県郡山市豊田町4-12
TEL 024-934-5311 FAX 024-934-5316
- 平成28年9月1日入会 キタイ設計(株) 東北支社
支社長 村里 勲
〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-6-53
TEL 022-343-5416 FAX 022-343-5423

◆ 会員の異動（次の方が就任されました）

- 平成28年4月1日 朝日航洋(株) 東北空情支社
支社長 桜井 恒久
- 平成28年4月1日 (株)アスコ大東 東北支店
支店長 角谷 利哉
- 平成28年4月1日 (株)サトー技建
代表取締役社長 加藤 一也
- 平成28年4月11日 (株)高島テクノロジーセンター 東北支店
支店長 益子 功一
- 平成28年6月1日 (株)エイト日本技術開発 東北支社
支社長 齊藤 喜一
- 平成28年6月1日 大日本コンサルタント(株) 東北支社
支社長 向田 昇
- 平成28年7月1日 日本振興(株) 東北支店
支店長 伊丹 英貴
- 平成28年9月1日 中央コンサルタンツ(株) 仙台支店
支店長 前田 修
- 平成28年9月27日 八千代エンジニアリング(株) 東北支店
支店長 梁田 信河
- 平成28年10月1日 (株)オリエンタルコンサルタンツ 東北支店
支店長 熊坂 徹也
- 平成28年10月1日 アジア航測(株) 仙台支店
支店長 菅原 脩
- 平成28年10月1日 (株)長大 仙台支社
支社長 小泉 勝則

◆ 名称変更

平成28年4月1日 (株)アスコ大東 東北支店
 (旧 (株)アスコ 東北支店)
 (旧 (株)大東設計コンサルタント 仙台支店)

平成28年4月1日 (株)コウキコンサルタント
 (旧 (株)興起測量設計事務所)

◆ 住所変更

平成28年3月31日 (株)日本構造橋梁研究所 東北支社
 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20
 TEL 022-713-6657 (変更なし) FAX 022-713-6658 (変更なし)

平成28年4月11日 (株)高島テクノロジーセンター 東北支店
 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-3
 TEL 022-792-8251 (変更) FAX 022-297-1071 (変更)

平成28年6月1日 (株)ウエスコ 東北支店
 〒981-1106 仙台市太白区柳生1-11-8
 TEL 022-797-5271 (変更) FAX 022-797-5272 (変更)

平成28年8月1日 (株)アサノ大成瀬穂エンジニアリング 東北支社
 〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-25-6
 TEL 022-343-8166 (変更) FAX 022-313-8179 (変更)

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部 会員名簿

会員 10月1日現在 102社

会社名	事業所名	郵便番号・住所	電話番号
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	東北支社	〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-25-6	022-343-8166
朝日航洋(株)	東北空情支社	〒981-3131 仙台市泉区七北田字古内1-1	022-771-2382
アジア航測(株)	仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-4-28	022-216-3553
(株)アスコ大東	東北支店	〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1	022-724-7530
(株)東コンサルタンツ	本社	〒970-8026 福島県いわき市平字正内町101	0246-23-8424
(株)アーバン設計	本社	〒963-0201 福島県郡山市大槻町字御前東46-26	024-961-7500
いであ(株)	東北支店	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-1-11	022-263-6744
(株)ウエスコ	東北支店	〒981-1106 仙台市太白区柳生1-11-8	022-797-5271
(株)ウヌマ地域総研	本社	〒010-0965 秋田県秋田市八橋新川向13-19	018-863-5809
エイト技術(株)	本社	〒031-0072 青森県八戸市城下2-9-10	0178-47-2121
(株)エイト日本技術開発	東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-712-3555
応用地質(株)	東北支社	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3-21-2	022-237-0471
(株)オオバ	東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町14-4	022-261-8861
(株)オリエンタルコンサルタンツ	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1	022-215-5522
開発虎ノ門コンサルタンツ(株)	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-24	022-292-5220
(株)片平エンジニアリング	仙台事務所	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-3130
川崎地質(株)	北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-16	022-792-6330
(株)菊池技研コンサルタンツ	本社	〒022-0007 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6-8	0192-27-0835
基礎地盤コンサルタンツ(株)	東北支社	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2-9-23	022-291-4191
キタイ設計(株)	東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-6-53	022-343-5416
(株)キタコン	本社	〒036-8051 青森県弘前市大字宮川1-1-1	0172-34-1758
(株)キタック	仙台事務所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-1-37	022-265-1051
(株)橋梁コンサルタンツ	東北事務所	〒963-8024 福島県郡山市朝日1-28-14	024-953-3667
(株)協和コンサルタンツ	東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-14	022-266-6073
(株)近代設計	東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-217-6750
(株)クレアリア	東北支店	〒980-0023 仙台市青葉区北目町2-22	022-726-5225
(株)建設環境研究所	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-265-0666
(株)建設技術研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-15-1	022-261-6861
(株)建設技術センター	仙台営業所	〒982-0262 仙台市青葉区西花苑2-15-23	022-302-1195
(株)コウキコンサルタンツ	本社	〒996-0902 福島県喜多方市松山町村松字小荒井道西405-10	0241-24-2701
(株)構研エンジニアリング	東北営業所	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-1-53-203	022-344-6231
(株)郡山測量設計社	本社	〒963-8041 福島県郡山市富田町字十文字54-3	024-952-5200
(株)国際開発コンサルタンツ	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区一番町1-5-25	022-225-6201
国際航業(株)	東北支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45	022-299-2801
(株)コサカ技研	本社	〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字上碓田56-2	0178-27-3444
(株)コンテック東日本	本社	〒030-0122 青森県青森市大字野尻今田91-3	017-738-9346
(株)寒河江測量設計事務所	本社	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字長面153-1	0237-86-5520
(株)サト一技建	本社	〒984-0816 仙台市若林区河原町1-6-1	022-262-3535
(株)三協技術	本社	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-14	022-224-5503
三協コンサルタンツ(株)	本社	〒994-0062 山形県天童市長岡北1-2-1	023-655-5000
サンコーコンサルタンツ(株)	東北支店	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-38	022-273-4448
(株)三和技術コンサルタンツ	本社	〒995-0015 山形県村山市楯岡二日町7-21	0237-55-3535
柴田工事調査(株)	本社	〒012-0801 秋田県湯沢市岩崎字南五条61-1	0183-73-7171
(株)庄内測量設計舎	本社	〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地69-9	0234-43-2459
昭和(株)	東北支社	〒980-0022 仙台市青葉区本町2-1-1	022-261-9052
(株)昭和土木設計	本社	〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-1-23	019-638-6834
新日本技研(株)	仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-212-4870
新和設計(株)	本社	〒992-0021 山形県米沢市大字花沢880	0238-22-1170
(株)新和調査設計	本社	〒963-8016 福島県郡山市豊田町4-12	024-934-5311
ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)	東北支店	〒983-0853 仙台市宮城野区東六番丁31-2	022-211-0872
セントラルコンサルタンツ(株)	東北支社	〒980-0822 仙台市青葉区立町27-21	022-264-1923

会社名	事業所名	郵便番号・住所	電話番号
(株) 創研コンサルタント	本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王1-9-22	018-863-7121
(株) 総合技術コンサルタント	東北支店	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-2	022-268-4191
創和技術(株)	本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王6-20-7	018-863-4545
(株) 高島テクノロジーセンター	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-3	022-792-8251
(株) 田村測量設計事務所	本社	〒990-0023 山形県山形市松波4-12-3	023-642-6644
第一復建(株)	仙台事務所	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-3701
(株) ダイエツ	本社	〒965-0831 福島県会津若松市表町2-53	0242-26-1253
大日コンサルタント(株)	仙台事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-225-5626
大日本コンサルタント(株)	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35	022-261-0404
(株) ダイヤコンサルタント	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1	022-263-5121
大和工営(株)	本社	〒996-0053 山形県新庄市大字福田字福田山711-43	0233-22-2422
(株) 地圏総合コンサルタント	仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13	022-261-6466
中央開発(株)	東北支店	〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東50-2	022-766-9121
(株) 中央技術コンサルタンツ	東北支店	〒981-3131 仙台市泉区中央2-16-12	022-375-6787
中央コンサルタンツ(株)	仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27	022-722-2541
中央復建コンサルタンツ(株)	東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7	022-267-1459
中電技術コンサルタント(株)	東北営業所	〒981-0014 仙台市青葉区本町1-13-22	022-397-8173
中部復建(株)	東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-5-18	022-274-8190
(株) 長大	仙台支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-2-26	022-781-8628
(株) 千代田コンサルタント	仙台支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-3-8	022-214-6261
(株) テクノ長谷	本社	〒980-0824 仙台市青葉区支倉2-10	022-222-6457
(株) 東京建設コンサルタント	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-222-8887
東京コンサルタンツ(株)	東北支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-20	022-265-3891
(株) 東建工営	本社	〒981-1227 名取市杜せきのした1-2-7	022-383-9811
(株) トーニチコンサルタント	東北事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-262-0243
(株) ドーコン	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25	022-225-2860
東邦技術(株)	本社	〒014-0041 秋田県大仙市大曲丸子町2-13	0187-62-3511
(株) 東北開発コンサルタント	本社	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-33	022-225-5661
(株) 東北構造社	本社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3	022-227-1877
日栄地質測量設計(株)	本社	〒970-8026 福島県いわき市平字作町1-3-2	0246-21-3111
(株) 日水コン	東北支所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17	022-222-1101
日本工営(株)	仙台支店	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-1-11	022-227-3525
(株) 日本構造橋梁研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-713-6657
(株) 日本港湾コンサルタント	東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-5	022-215-9051
日本振興(株)	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-3-10	022-291-3810
(株) ニュージェック	東北支店	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-2	022-301-7611
(株) ネクスコ・エンジニアリング東北	本社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-65	022-713-7277
パシフィックコンサルタンツ(株)	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1	022-302-3940
(株) パスコ	東北事業部	〒983-0864 仙台市宮城野区名掛丁205-1	022-299-9511
(株) 東日本建設コンサルタント	本社	〒974-8261 福島県いわき市植田町林内26-5	0246-63-6063
(株) 福田水文センター	東北営業所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-10	022-224-1417
(株) 福山コンサルタント	東北支社	〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17	022-262-0118
富士コンサルタンツ(株)	仙台支店	〒982-0013 仙台市太白区太子堂10-20	022-395-6216
(株) 双葉建設コンサルタント	本社	〒996-0002 山形県新庄市金沢字谷地田1399番11	0233-22-0891
(株) 復建エンジニアリング	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-10	022-267-2765
(株) 復建技術コンサルタント	本社	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-7-25	022-262-1234
復建調査設計(株)	東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-723-5830
三井共同建設コンサルタント(株)	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-225-0489
陸奥テックコンサルタント(株)	本社	〒963-8011 福島県郡山市若葉町17-18	024-922-2229
八千代エンジニアリング(株)	東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町1-23	022-261-8344
(株) 横浜コンサルティングセンター	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-18	022-262-1493

編集後記

4月14日に熊本県を震源としたM6.4の地震に続き、2日後の16日にはM7.3の本震、その後、震度5以上の余震が頻発し、熊本県に大きな被害をもたらしました。8月30日台風10号は統計開始以降初めて東北地方から上陸し、岩手県と北海道に多くの被害をもたらしました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

また、ダッカで発生した襲撃事件では、我々の同胞が凶弾に倒れる悲劇が発生しました。とても辛く悲しい事件であり、平和な社会の到来を願ってやみません。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

今年にはリオデジャネイロにおいて、南米初のオリンピックが開催されました。開催までには多くの問題を抱えながらの開会でしたが、数々の感動を与えてくれました。五輪憲章ではその目的は「平和への貢献」と謳われております。五輪を機に、戦争や暴動の無い平和な世界が築かれることを祈念いたします。

(2016年9月 菊池 透 記)

JCCA TOHOKU Vol.54

発行 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会東北支部
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-11
アーク仙台ビル
TEL 022-263-6820

編集 広報委員長 松川 秀敏
副委員長 菊池 透 副委員長 石塚 三雄
広報委員 大友 正樹 広報委員 佐藤 雅樹
〃 田子 洋一 〃 山田 勝
〃 高橋 伸彰 〃 高橋 力
〃 目々澤 英幸 〃 庄司 敏彦
〃 海藤 剛 〃 武田 浩幸

事務局 新野 俊晴・小川 みゆき
印刷 ハリウ コミュニケーションズ株式会社
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12
TEL 022-288-5011



.....明日への風、東北から.....

ロゴのデザインについて

三本の流れは、東北から発進する新しい風と〔文化〕を象徴したものであり、その中の白い三角は東北独自の〔風土〕と〔歴史〕をイメージしたものである。